

令和6年度

学校要覧



大分県立別府支援学校

〒874-0840

別府市鶴見4224

TEL 0977-24-0108

FAX 0977-24-0322

メールアドレス a33120@oen.ed.jp

大分県立別府支援学校校歌

作詞 児童生徒一同
補作 甲斐美奈
作曲 稲田雅史

mp
1. ひとりじゃないよ と な りには ー すき な えがお が そー
ばーにある ー ひ とりじゃないよ と な りには ー お
mf
な じかお おなじこえ か わ らないよ いつま で も ー と
も だちのやさしさ し ん じ よ う と も だちのやさしさ あ
f
り が と う て と てをつな ご う ラン ラン ラン み
らいへむかう さかみち そら を みあ げ て ゆーつくりあ る こう ー

一、一人じゃないよ となりには
好きな笑顔が そばにある
一人じゃないよ となりには
同じ顔 同じ声 変わらないよ いつまでも
友だちのやさしさ 信じよう
友だちのやさしさ ありがとう
手と手をつなごう ランランラン
未来へ向かう坂道 空を見上げて ゆっくり歩こう

二、一つじゃないよ 夢の種
大きな希望が そばにある
一つじゃないよ 限りなく
新しい風 新しい道 続いていくよ どこまでも
自分の強さ 信じよう
ほくにわたしに ありがとう
手と手をにぎろう ランランラン
未来へ向かう坂道 空を見上げて ゆっくり歩こう

◆校章について◆

上の三角形は鶴見山を表し、その麓三羽の鶴（別府支援学校三校）が、和（一つ）になって力強く羽ばたく様子を三重円で表現。一つの輪が各校の翼をイメージ。

支援学校をアルファベットS（エス）で表現し、下の三角の中に、別府市に位置する「別」の文字を入れて表現した。

目 次

I 沿革及び施設		VIII 中学部	
1 沿革	1	1 指導の形態別授業時数	44
2 歴代校長	3	2 道徳科指導計画	46
3 施設の概要	4	3 総合的な学習の時間	47
4 図面	5	4 学級活動	52
5 図書館	7	5 生徒会活動	53
II 職員		6 学校行事	54
1 職員数	8	7 自立活動	55
2 職員名簿	8	8 産業現場等における実習	56
III 校務分掌と機構		9 交流及び共同学習	57
1 学校運営組織図	11	IX 高等部	
2 令和6年度各種委員会	11	1 教育課程	58
3 分掌業務分担表	12	2 総合的な探究の時間	63
IV 学校経営		3 ホームルーム活動	66
1 教育目標	13	4 生徒会活動	68
2 本年度の重点目標と重点的取組	15	5 学校行事	69
V 教育課程の概要		6 自立活動	70
1 教育課程編成の基本方針	16	7 産業現場等における実習	71
2 教育課程編成の原則	16	8 交流及び共同学習	72
3 各課程の詳細	17	X 児童生徒	
4 教育課程の構造	18	1 児童生徒数及び学級数	73
5 校時表	19	2 重複障がい学級在籍状況	73
VI 教育計画		3 出身地別児童生徒数	73
1 道徳教育の全体計画	20	4 通学状況別児童生徒数	73
2 キャリア教育の全体計画	21	5 高等部卒業生の進路状況	74
3 人権・平和教育の全体計画	22	6 児童生徒数・学級数推移	74
4 食に関する指導の全体計画	23	XI 寄宿舎	
5 学校保健年間計画	24	1 教育目標	75
6 学校安全計画	25	2 生活目標	75
VII 小学部		3 本年度の目標	75
1 指導の形態別授業時数	26	4 運営組織	75
2 道徳科指導計画	28	5 生活日課表	76
3 外国語活動指導計画	30	6 学部別舎生数	76
4 総合的な学習の時間指導計画	36	7 年間計画	77
5 学級活動	39	XII 職員研修	78
6 クラブ活動	40	XIII スクールバス運行規定	
7 児童会活動	40	1 利用基準	79
8 学校行事	41	2 運行経路等	79
9 自立活動	42	3 保護者の責務等	79
10 交流及び共同学習	43	4 その他	79
		XIV 学校評議員	80

I 沿革及び施設

1 沿革

- S33. 4.14 別府市青山中、南立石小の特殊学級として「別府整肢園」に併設学級開級、教諭9名、児童・生徒数74名（肢体不自由部門）
34. 7. 6 別府青山中、南立石小の特殊学級として「国立石垣原病院」に併設学級開級、教諭2名、児童・生徒数27名（病弱部門）
36. 2.13 別府青山中、南立石小の特殊学級として「少年保養所」に併設学級開級、教諭2名、児童・生徒数12名（病弱部門）
5. 1 別府市立養護学校の特殊学級として整肢園学級、石垣原学級、少年保養所学級を統合させた。
- 37.11.11 別府市立養護学校から分離して、大分県立別府養護学校として独立。
39. 7. 1 整肢園校舎に管理棟（192 m²）竣工。
40. 9. 1 少年保養所閉所に伴い、少年保養所校舎を閉舎。
41. 4.20 旧教員保養所を改造、肢体不自由単独養護学校として開校、本校舎に高等部を設置、
1. 本校（単独養護学校） 2. 校舎（整肢園校舎、石垣原校舎）となる。
- 4.20 整肢園校舎に機能訓練、雨天体操場（156 m²）竣工。
- 9.17 本県における夏季国体開催に際し、皇太子殿下、美智子妃殿下のご来校をいただき、はげましのおことばを賜る。
42. 3. 1 石垣原校舎に、三教室（148 m²）竣工。
4. 1 石垣原校舎が石垣原分校となり分校主事をおく。
43. 3.21 石垣原分校五教室（245 m²）竣工。
- 11.11 湯布院青少年スポーツセンター竣工に際し常陸宮殿下、華子妃殿下の御来校をいただき、はげましのおことばを賜る。
44. 4.14 寄宿舎竣工（建面1,897 m²、その他236 m²）
45. 4.14 寄宿舎管理棟竣工（1,334 m²）
46. 3.14 校長宿舎改築竣工（85.50 m²）
4. 1 石垣原分校が本校から分離して、大分県立石垣原養護学校として独立。
47. 3.31 小学部学習棟竣工（1,614.92 m²）
4. 1 整肢園校舎が鶴見分校となり分校主事をおく。
48. 3.31 体育館竣工（568.812 m²）
4. 1 鶴見分校に幼稚部設置。
50. 3.15 中学部学習棟・特別教室棟竣工（1,871.20 m²）
51. 3.31 高等部学習棟竣工（含 特別教室995.4 m²）
52. 8.31 別府土木事務所失対課による校庭整備工事完了。
54. 3.31 鶴見分校管理棟並びに、小学部学習棟竣工（1,192.25 m²）
55. 3.31 鶴見分校小学部学習棟竣工（1,167.00 m²）
56. 4. 1 鶴見分校が本校から分離して、大分県立鶴見養護学校として独立。
58. 2.25 高等部学習棟スロープの屋根付け工事完了（96 m²）
- 58.10.31 スクールバス購入配置。
60. 3.16 屋内プール竣工（400 m²） スクールバス車庫竣工（84 m²）
61. 3.31 管理棟竣工（1,461.07 m²、渡廊下31.12 m²含む）
63. 8. 6 寄宿舎避難用門扉新設工事完了

- 63. 8.31 車椅子洗車場新設工事完了
- H元. 8.30 運動場砂場新設工事完了
 - 2. 9. 6 運動場防球ネット新設工事完了
 - 9.29 小・中・高等部棟外壁補修工事完了
- 3. 8.31 寄宿舎棟大規模改造工事完了（第一期工事）
 - 12. 2 小・高等部自動ドア新設工事
- 4. 8.31 寄宿舎棟大規模改造工事完了（第二期工事）
 - 11. 7 創立 30 周年並びに寄宿舎改築落成記念式典挙行
- 5. 9.30 グラウンド整備工事完了
- 6. 3.31 自動ドア設置工事
 - 3.31 学校内車路整備工事
- 7. 3.23 温室新築工事
 - 8.10 校長室空調設備工事
- 8. 7.15 調理室空調設備工事
- 9. 9. 4 教室棟空調設備工事
 - 12.18 スクールバス更新
- 10. 3.24 中庭上屋設置工事
 - 3.24 生ゴミ処理機設置工事
 - 3.30 ゴミ保管庫設置工事
- 11. 3.29 厨房空調設備設置工事
- 11. 9.30 小学部棟大規模改修工事
- 12. 3.31 真空冷却装置設置工事
- 13. 8.31 中学部・高等部外壁補修工事
- 14. 1.31 防犯警報装置設置
 - 6.13 校内 LAN 設置工事
 - 8.27 小学部棟窓手摺取付工事
 - 11.11 創立 40 周年記念日
 - 12. 9 寄宿舎舎室棟空調設備工事
- 15. 3.18 重油タンク設置工事
- 16. 9.30 高等部棟大規模改修工事
- 17. 1.26 体育館屋根防水工事
 - 9.30 中学部棟大規模改修工事
- 18. 8.31 寄宿舎管理棟耐震補強工事
- 21. 9.30 体育館耐震補強工事
- 22. 4. 1 別府養護学校から別府支援学校に校名変更
- 22.11. 9 倉庫取壊・新築工事（34.93 m²）
- 24.11. 2 創立 50 周年記念式典挙行
- 25.10. 4 体育館内外部大規模改造工事
- 26. 1. 8 中学部棟外部大規模改造工事
- 26. 4.18 多目的ホール天井改修工事
- R 5. 7. 6 寄宿舎棟内部改装工事
 - 5.11.21 中学部棟外解体工事
 - 6. 3.21 外構外改修工事

2 歴代校長

【大分県立別府養護学校】

高橋	要	自	昭和	37.	11.	11	至	昭和	45.	3.	31
生山	和四郎	自	昭和	45.	4.	1	至	昭和	48.	3.	31
八坂	信男	自	昭和	48.	4.	1	至	昭和	49.	3.	31
床並	利教	自	昭和	49.	4.	1	至	昭和	51.	3.	31
徳光	照道	自	昭和	51.	4.	1	至	昭和	53.	3.	31
尾登	一信	自	昭和	53.	4.	1	至	昭和	54.	3.	31
高田	信義	自	昭和	54.	4.	1	至	昭和	57.	3.	31
見初	稔	自	昭和	57.	4.	1	至	昭和	59.	3.	31
工藤	雄幸	自	昭和	59.	4.	1	至	昭和	61.	3.	31
隈井	眞	自	昭和	61.	4.	1	至	昭和	63.	3.	31
辛島	孝	自	昭和	63.	4.	1	至	平成	元.	3.	31
藤本	克己	自	平成	元.	4.	1	至	平成	3.	3.	31
伊藤	洋一	自	平成	3.	4.	1	至	平成	7.	3.	31
野尻	晃弘	自	平成	7.	4.	1	至	平成	10.	3.	31
佐藤	賢之助	自	平成	10.	4.	1	至	平成	14.	3.	31
釘宮	博史	自	平成	14.	4.	1	至	平成	16.	3.	31
野田	宏道	自	平成	16.	4.	1	至	平成	19.	3.	31
阿部	良一	自	平成	19.	4.	1	至	平成	22.	3.	31

【大分県立別府支援学校】(平成22年4月1日 校名変更)

阿部	良一	自	平成	22.	4.	1	至	平成	23.	3.	31
富藤	馨信	自	平成	23.	4.	1	至	平成	25.	3.	31
安東	和子	自	平成	25.	4.	1	至	平成	28.	3.	31
清末	直樹	自	平成	28.	4.	1	至	令和	2.	3.	31
小林	京子	自	令和	2.	4.	1	至	令和	5.	3.	31
安藤	博	自	令和	5.	4.	1					

3 施設の概要

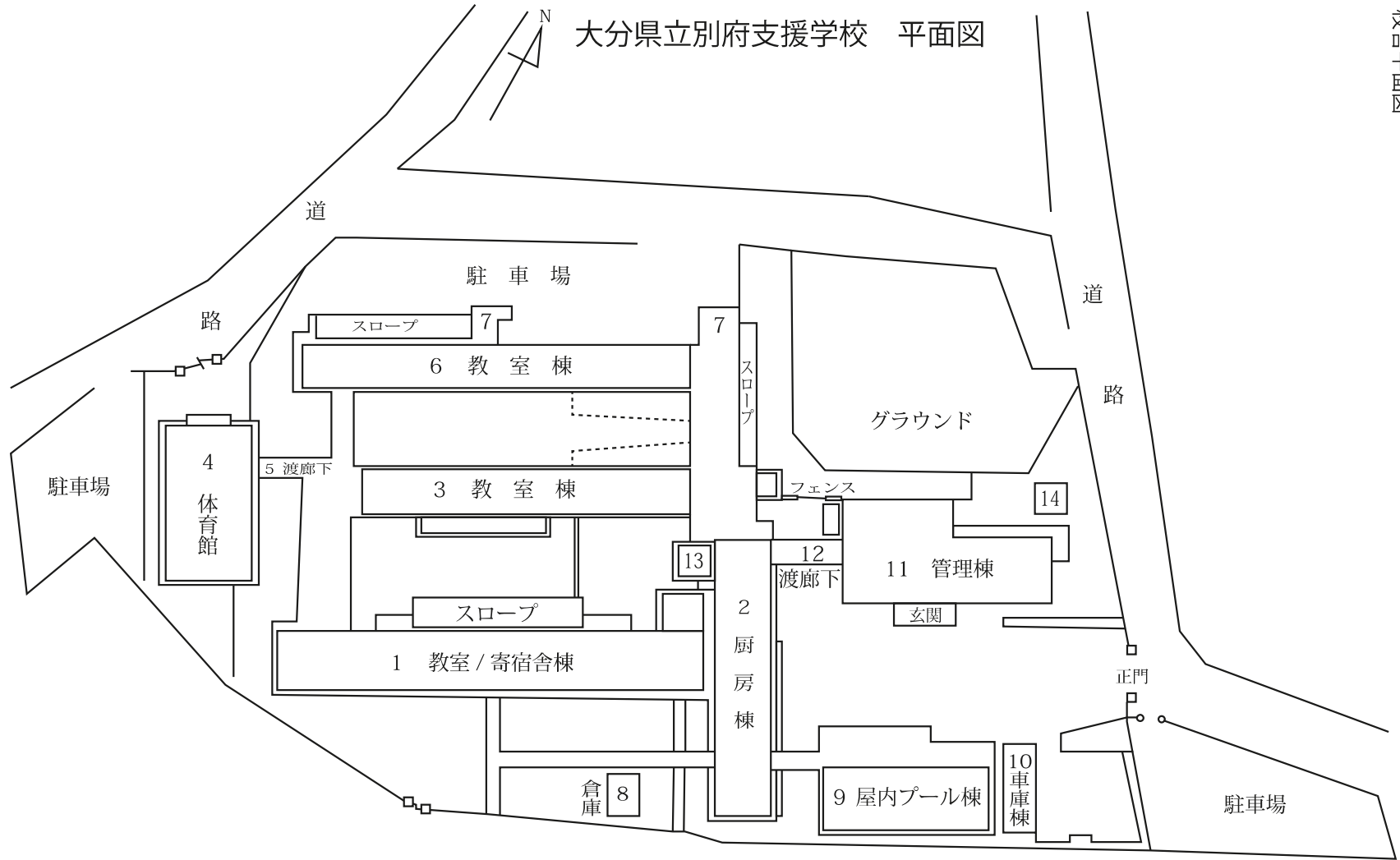
(1) 校 地 別府市大字鶴見字下原4224

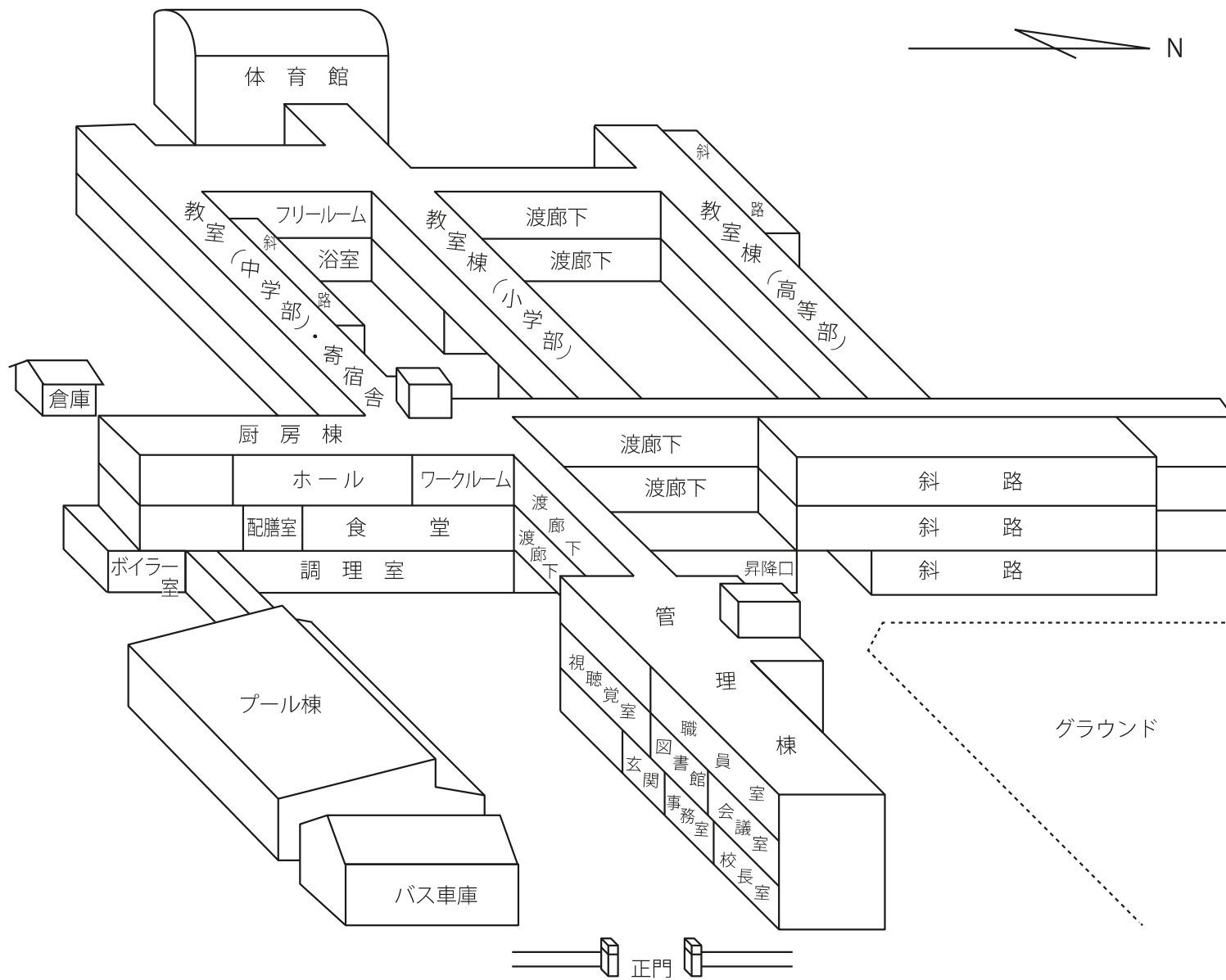
(2) 建 物

番号	種 目	構 造	用 途	延面積 (㎡)	建築年月日	備考
1	寄 宿 舎 建	鉄筋コンクリート2階建	普通教室・寄 宿 舎	1,894.75	昭 44. 4. 14	
2	〃	〃 3階建	厨 房 外	1,330.70	〃 45. 4. 14	
3	校 舎 建		普通教室・特別教室	1,611.35	〃 47. 3. 31	
4	体 育 館	鉄 筋 造	体 育	618.78	〃 48. 3. 31	
5	雑 屋	鉄 筋 2 階 建	渡 廊 下	21.00	〃	
6	校 舎 建	鉄筋コンクリート2階建	普通教室・特別教室	1,502.26	〃 50. 3. 15	
7	〃	〃	〃	77.60	〃 51. 3. 31	
8	倉 庫 建	鋼 板 葺	倉 庫	34.93	平 22.11. 9	
9	屋内プール	鉄 骨 造 1 階 建	プ ー ル	400.00	昭 60. 3. 16	
10	車 庫 建	鉄 骨 造 1 階 建	スクールバス車庫	84.00	〃	
11	校 舎 建	鉄筋コンクリート3階建	管 理 棟	1,429.95	〃 61. 3. 31	
12	雑 屋	鉄筋コンクリート	渡 廊 下	31.12	〃	
13	寄 宿 舎 建	鉄 骨 造 3 階 建	寄 宿 舎	52.43	平 4. 9. 4	
14	倉 庫 建	ブ ロ ッ ク 造 1 階 建	倉 庫	32.99	〃 5.10.22	
計				9,121.86		

(3) 運動場 1,607.83 ㎡

4 図面
校舎平面図





5 図書館

(1) 施設・設備

	図 書 室		準 備 室		視 聴 覚 室	
広 さ	61.2 m ²		20.4 m ²		61.2 m ²	
書 架	開架式 作り付け書棚	7	開架式	2	開架式	2
机	閲覧テーブル	2		2	角長テーブル	6
	カウンター	1				
椅 子		13		2		15
黒 板	小	1	小	1	大	1
そ の 他	時計	1	キャビネット (両開き)	1	引違書庫	2
	掲示板	3	流し台	1	キャビネット (小)	1
	足つぎ	3	作り付け作業台	1	キャビネット	2
	ファン	1	機器収納棚	1	時計	1
			ファン	1	ファン	2

(2) 図書室資料量

分類番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	総記	哲学	歴史	社会 科学	自然 科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
昨年度迄の 蔵書数	230	50	207	261	487	596	145	1,592	119	2,952	6,239

Ⅱ 職 員

1 職員数

区分	計	校長	校務事務長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	実習教諭	臨時講師	寄宿舎指導員	臨時寄宿舎指導員	事務職員	臨時事務員	栄養教諭	調理員	介助員	（学習指導員）	（会計年度任用職員） （看護）	（会計年度任用職員） （介助）	（会計年度任用職員） （スクールSSS）	（会計年度任用職員） （調理）	（会計年度任用職員） （代替調理員）	学校医	学校薬剤師	産業医
現員	32	1	0	1	2	16	0	0	4	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	1
	69	0	1	0	1	34	1	1	6	4	3	3	0	1	1	0	1	3	2	1	5	1	1	1	0
	101	1	1	1	3	50	1	1	10	5	7	4	1	1	1	0	1	3	2	2	5	1	6	1	1

※ 学校医等は総計に含まない。

2 職員名簿

職名	氏名	担当教科	校務分掌
校長	安藤 博		
統括事務長	羽田野 ひろみ		
教頭	大鶴 宏幸		
小学部	主幹教諭	加藤 康子	特支（全） 小学部主事
	教諭	白石 和宏	特支（全） 舎務主任
	教諭	楠本 サクラ	特支（全） 研修主任
	教諭	北崎 敦子	特支（全） 研修 九病連・全病連
	教諭	坪井 久枝	特支（全） 教務
	教諭	中園 典子	全 教務
	教諭	末永 啓子	特支（全）
	教諭	平野 貴子	特支（全） 進路指導
	教諭	吉尾 啓啓	特支（全） 情報
	教諭	後藤 祐里	特支（全） 教育支援主任 特別支援コーディネーター
	教諭	佐々木 慎哉	全 情報主任
	教諭	葉師寺 亮	特支（全） 研修
	教諭	伊藤 湧	特支（全） 特別活動
	教諭	小倉 実唯	特支（全） 教育支援
	教諭	高知穂 みなみ	特支（全） 生徒指導
	教諭	財津 郁美	特支（全） 保健 医療的ケア担当
	臨時講師	河野 清隆	全 教務
	臨時講師	黒木 和子	全 保健
	臨時講師	高石 知枝	全 生徒指導
	臨時講師	藤川 那智	全 特別活動
会計年度任用職員（介助）	工藤 奈緒子		
会計年度任用職員（看護）	岩男 美樹		医療的ケア
会計年度任用職員（看護）	田長丸 美和		医療的ケア
会計年度任用職員（看護）	深澤 朋子		医療的ケア
中学部	主幹教諭	林 仁司	特支（社会） 中学部主事
	教諭	兒玉 正智	特支（保体） 特別活動
	教諭	園田 昌彦	特支（保体） 進路指導
	教諭	小林 麻紀子	特支（国語） 研修
	教諭	土屋 陽子	特支（美術） 保健主任
	教諭	平岡 聡子	特支（国語） 教育支援
	教諭	有田 なつみ	特支（音楽） 保健
	教諭	高山 真由美	特支（国語） 教育支援
	教諭	尾前 朱加	特支（保体） 特別活動
	教諭	加賀 直子	英語 教務
	教諭	佐藤 桃佳	特支（社会）
	教諭	溝辺 恭平	特支（数学） 生徒指導 防災教育コーディネーター
	教諭	鶴原 彩華	特支（数学） 研修
	教諭	一木 桃子	特支（社会） 保健 司書教諭
	臨時講師	八坂 晋一郎	社会 情報
	臨時講師	羽田野 公子	音楽 生徒指導
臨時講師	小野 明日香	家庭 教務	
臨時講師	竹下 将輝	理科 情報	
会計年度任用職員（介助）	土師 真寿美		

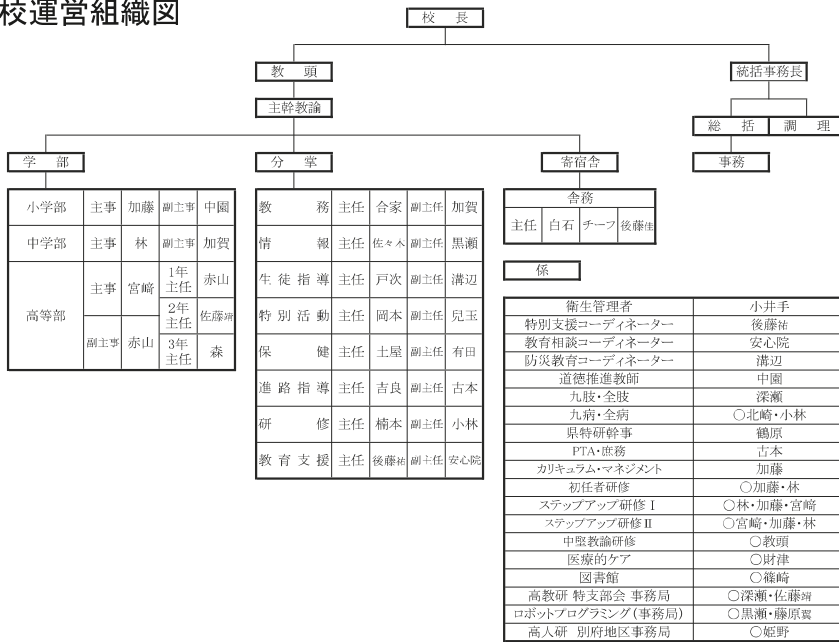
職名	氏名	担当教科	校務分掌	
高等部	主幹教諭	宮崎倫成	特支(理科) 高等部主事	
	教諭	藤原潤次	数学 教務	
	教諭	古良和秀	理科 進路指導主任	
	教諭	黒川憲人	保健体育 生徒指導	
	教諭	姫野茂幸	情報・商業 研修	
	教諭	水鳥美穂	国語	
	教諭	戸次連実	家庭 生徒指導主任	
	教諭	射場富水江	地理歴史 特別活動	
	教諭	安心院祐美	国語 教育支援 教育相談コーディネーター	
	教諭	深瀬寿恵	特支(家庭) 研修	
	教諭	合家彰子	特支(音楽) 教務主任	
	教諭	佐久間恵梨奈	英語 研修	
	教諭	森素子	特支(音楽) 進路指導 3学年主任	
	教諭	赤山千晶	特支(保体) 進路指導 1学年主任	
	教諭	安東佳織	特支(保体)	
	教諭	佐藤靖子	特支(福祉) 進路指導 2学年主任	
	教諭	遠藤ももこ	美術 教務	
	教諭	古本祐	特支(保体) 進路指導 庶務	
	教諭	佐藤響子	特支(数学) 教務	
	教諭	橋本友茉	特支(地歴)	
	教諭	岡本拓也	特支(保体) 特別活動主任	
	教諭	藤原翼	特支(理科) 情報	
	教諭	黒瀬咲希	特支(福祉) 情報	
	養護教諭	小川宏子		保健
	実習教諭	後藤かりん		情報
	臨時講師	永松宏樹	地理歴史	保健
臨時講師	河野沙妃	地理歴史	保健	
会計年度任用職員(学習)	春山彩乃			

職名	氏名	分掌
副主幹(総括)	後藤悦子	(本校) 人件費、旅費、調査統計、人事、服務
副主幹	金光典子	(本校) 収入、物件費、工事、財産
主事	石川真悠子	(本校) 給食費(本校、分校) 就学奨励費
専門員	相澤信儀	(本校) 衛生管理、施設管理、クラス費等、団体費(本校、分校) 庶務
臨時事務員(司書)	篠崎将貴	図書業務全般
会計年度任用職員(SSS)	堤秀男	(事務) 環境整備
会計年度任用職員(SSS)	塩崎弥栄	(事務) 庶務
主任寄宿舎指導員	首藤智美	生活
主任寄宿舎指導員	藤永真弓	庶務
主任寄宿舎指導員	堤順子	保健
主任寄宿舎指導員	奥切正	文化
主任寄宿舎指導員	後藤佳世子	寄宿舎チーフ 庶務
臨時寄宿舎指導員	小井手公博	生活
臨時寄宿舎指導員	廣瀬吉英	庶務
臨時寄宿舎指導員	橋口有里	文化
臨時寄宿舎指導員	杉野康治	文化
臨時寄宿舎指導員	新村里美	保健
臨時寄宿舎指導員	八川克哉	保健
臨時寄宿舎指導員	小野ありさ	生活
栄養教諭	酒井直子	献立、給食管理、食に関する指導
調理員	上野かなめ	調理、衛生
会計年度任用職員(調理)	飯田安子	調理、衛生
会計年度任用職員(調理)	松尾晴美	調理、衛生
会計年度任用職員(調理)	川野かおる	調理、衛生
会計年度任用職員(調理)	上野典子	調理、衛生
会計年度任用職員(調理)	小田恵里	調理、衛生
会計年度任用職員(代調理)	星野宏子	調理、衛生

学 校 医	種 田 里 枝 子	内科
〃	向 井 正 樹	精神科
〃	諫 山 哲 郎	整形外科
〃	右 田 雅 義	眼科
〃	川 本 洋	耳鼻科
学 校 歯 科 医	豊 田 純 一 朗	歯科
産 業 医	福 永 拙	健康指導・相談
学 校 薬 剤 師	木 屋 智 裕	

III 校務分掌と機構

1 学校運営組織図



2 令和6年度各種委員会

委 員 会 名	責 任 者	構 成 員
運営委員会	教頭	校長、統括事務長、教頭、学部主事、副主幹総括、教務主任、全分掌主任、寄宿舎チーフ、関係教職員提案者
防災対策委員会	防災教育コーディネーター	校長、統括事務長、教頭、学部主事、防災教育コーディネーター、生徒指導主任、保健主任、寄宿舎防災担当、PTA役員、地域代表、行政
教育課程委員会	教務主任	校長、教頭、学部主事、教務主任、特別活動主任、進路指導主任、人権平和教育担当者研修、学部担当者教務、カリマネ担当、研修主任、保健主任
カリキュラム・マネジメント推進委員会	カリキュラム・マネジメント担当主幹教諭	校長、教頭、主幹教諭、全分掌主任
人権教育推進委員会	人権平和教育担当者	校長、教頭、人権平和教育担当者研修、学部担当者研修
学校保健委員会	保健主任	校長、統括事務長、教頭、保健主任、養護教諭、看護師、保健部、生徒指導主任、特別活動主任、舎務主任、学校栄養教諭、校医、学校薬剤師
校内安全委員会	医療的ケア推進者	校長、教頭、学部主事、医療的ケア推進者保健、保健主任、医療的ケア担当者保健、養護教諭、看護師、必要に応じ校医、担任、保護者
スクールバス運行委員会	生徒指導主任	校長、統括事務長、教頭、学部主事、生徒指導主任、スクールバス担当者三校バス担当者
校内就学支援委員会	教務主任	校長、教頭、学部主事(小・中)、教務主任、学部担当者小・中教務、養護教諭、校医、担任
高等部入学者選考委員会	高等部主事	①資料作成 学部主事(高)、教務主任、各係・教科担当者
		②総務委員会 校長、統括事務長、教頭、学部主事(高)、教務主任、生徒指導主任、進路指導主任、舎務主任、副学部主事(高)
		③全体会議 校長、統括事務長、教頭、学部主事(高)、教務主任、高等部教員、養護教諭
学校評価推進委員会	教頭	校長、教頭、学部主事、教務主任、分掌主任
衛生委員会	衛生管理者	校長、産業医、衛生管理者、学校栄養教諭、寄宿舎衛生推進者、教職員代表小、中、高、事務
情報セキュリティ委員会	情報主任	校長、統括事務長、教頭、学部主事、情報主任、学部担当者小・中・高、寄宿舎情報担当者・施設担当者事務
業務(組織)改善委員会	教頭	校長、統括事務長、教頭、学部主事、主幹総括、教務主任、舎務主任
修学旅行検討委員会	統括事務長	校長、統括事務長、教頭、学部主事、修学旅行担当者小・中・高
いじめ不登校等対策委員会	教育相談コーディネーター	校長、教頭、学部主事、教務主任、生徒指導主任、養護教諭、関係教職員
生徒指導委員会	生徒指導主任	校長、教頭、学部主事、生徒指導主任、関係学年主任、関係教職員
学部主事会	教頭	校長、教頭、学部主事、教務主任

3 分掌業務分担表

★は責任者

分掌	部門	業務内容	小学部	中学部	高等部
教務	教育課程	教育課程委員会・学校要覧 公簿・諸帳簿（通知表・出席簿・指導要録等）	坪井	小野明	合家
	★ 諸 帳 簿	校務支援システム計画・運用 学校日誌・e-office スケジュール	河野清	小野明・★加賀	佐藤馨・藤原潤
	★個別の指導計画 ／年間指導計画	個別の指導計画／年間指導計画 校務支援システム計画・運用	中国	小野明・加賀	★佐藤馨・藤原潤
	校内就学支援委員会	校内就学支援委員会	河野清	加賀	合家
	授業計画	授業計画・日課表・特別教室の管理調整	中国	小野明	遠藤
	★ 教 科 書	教科書・教材・教具	★坪井	加賀・小野明	遠藤
	儀式の計画など	入学式・卒業式など儀式の計画・運営 外部からの文書整理・HP作成	中国	加賀・小野明	合家・佐藤馨
	校務支援システム	校務支援システムのサポート	—	—	佐藤馨
	Z o o m	Zoomのサポート	—	佐藤馨	—
	情 報	学校HP・セキュリティ	学校ホームページの作成・更新 個人情報・情報セキュリティ	佐々木 吉尾	八坂 八坂
機 器 管 理		児童生徒用・教員用 iPad 管理・Graffer	吉尾	竹下	藤原翼
		高等部端末購入 教育行政用PCおよび統合F Sの運用・管理	— 佐々木	— 八坂	黒瀬 後藤
Z o o m		Zoom 実施・サポート	吉尾	—	—
ロ イ ノ ー ト		番号の配布・アプリの管理	—	竹下	—
I C T 活 用		ICT 活用充実事業・ICT 研修	佐々木	竹下	黒瀬
ロボットプログラミング		事務局・連絡・運営	—	—	黒瀬・藤原翼
生徒指導	スクールバス	スクールバス全般（登下校、校外学習、スクールバス運行委員会など）	高知徳	羽田野	戸次
	安 全 指 導	安全指導（危機管理・交通安全、校内安全点検） 清掃分担、除草作業・ホームページ	高石	溝辺	黒川
	★ 防 災	危機管理マニュアル、学校防災計画など 緊急時引き渡し訓練、避難訓練、防災研修、学校安全だより	高石	★溝辺	黒川
	校 内 指 導	家庭訪問、生徒指導全般、いじめ・不登校対策委員会	高知徳	羽田野	戸次
	Z o o m	Zoomのサポート	高石	溝辺	黒川
特別活動	学 校 行 事	別支ドリームフェスティバル	藤川・伊藤	尾前	岡本
	★ 全 校 行 事	全校集会	藤川・伊藤	兒玉・尾前	★岡本
	★ 学 部 行 事	学部特活（児童生徒会など） 新人生徒会行事	藤川・伊藤	兒玉・尾前	射場・★岡本
	★ そ の 他	バス感謝の会・給食感謝の会	藤川	兒玉	射場
		外部講師等の活用	藤川・伊藤	兒玉	★射場
		ホームページ・学校掲示板 外部からの文書整理	伊藤	尾前	★岡本
	Z o o m	Zoomのサポート	—	岡本	—
保 健	保 健	保健管理（検診、健康観察、学校医との連携、S3 管理、環境衛生） 学校保健委員会	—	小川・土屋・有田・一木	—
	安 全 ・ 給 食	保健教育（保健指導、フッ化物洗口、ホームページ） 安全管理（救急法、緊急対応、災害時の備蓄薬、ヒヤリハット・アクシデント）	—	黒木・一木・永松・小川	—
		給食管理（給食全般、食物アレルギー、保護者対象講習会、ランチルーム座席、消耗品）	—	土屋・黒木・一木・永松・堤 酒井・一木・堤	—
	★ 医 療 的 ケ ア	医療的ケア（各種手続き、県提出資料作成、安全委員会、医療的ケアマニュアル） 研修企画運営	—	★財津・有田・看護師	—
	Z o o m	Zoomのサポート	—	河野沙	—
進路指導	進 路 相 談	進路相談 進路広報・ホームページ作成	—	—	佐藤晴・森 赤山・吉良
		進路研修の企画・運営	平野	園田	—
		卒業生追指導 チャレンジスタッフ・奨学金関係 職場開拓	— —	吉良 園田	吉良・古本 吉良
	実 習 ・ 進 路	（高等部）現場実習企画・運営 （中学部）職場見学、職場体験企画・運営・学部進路 （小学部）	—	園田	佐藤晴・森 赤山・吉良
	★ 庶 務	P T A 関 係 ・ ベ ル マ ー ク	平野	園田	★古本
		庶務関係 物品販売 同窓会	平野	園田	吉良 吉良
	Z o o m	Zoomのサポート	平野	園田	古本
研 修	★ 研 究	校内研究の企画・運営 研究会の企画・運営（指導力向上事業に係る特定授業・学校公開）	★楠本・薬師寺	小林・鶴原	深瀬・佐久間
	★ 研 修	各種研修会の企画運営、特別支援学校校内研修支援研修会運営 （専門研修4回（内本校2回））	—	★小林	佐久間
		教育センター研修	薬師寺	—	—
		各種研究会の案内、掲示、資料保管	—	—	佐久間
	★ 人 権 ・ 平 和	人権教育推進委員会、人権・平和教育の推進	薬師寺	鶴原	★深瀬
		人権教育関係機関・団体 校内人権研修 スクールセクハラ担当	— — —	— — —	深瀬 深瀬 深瀬
	対 外 研 究 会	九肢研・全肢研	—	—	—
		九病連・全病連	北崎	—	—
		九病連 令和7年度大分大会準備	北崎	小林	—
		県特研	—	鶴原	—
		別府地区高入権事務局 ホームページ作成、文書処理・各種依頼調査等対応	— —	— 鶴原	姫野 —
	Z o o m	Zoomのサポート	—	鶴原	—
教育支援	★ 個 別 の 教 育 支 援 計 画	作成推進、校務支援システム対応、摂食指導専門家による研修 個別の教育支援計画作成推進、合理的配慮に係る学部ケース会議 関係機関との連携、子どもを知る会	★後藤祐・小倉	高山・平岡	安心院 （赤山、佐藤晴、森）
	★ 地 域 支 援 （巡回相談・学校見学）	特別支援教育コーディネーター（巡回相談・別府市就学相談等） 学校見学・教育相談	後藤祐	後藤祐 高山	安心院
	★ 肢 体 不 自 由 教 育	外部専門家との連携、専門家の指導・助言事業、飲食に関する実態表	—	★小倉・平岡・安心院	—
	★ 病 弱 教 育	教育相談コーディネーター 校内支援、専門家の指導助言事業	後藤祐	★高山	安心院
	そ の 他	いじめ不登校等対策委員会 ホームページ・掲示板作成	—	—	—
		学校案内パンフレット、夏季休業中のボランティア	—	平岡	—
Z o o m	Zoomのサポート	—	小倉	—	
舎 務	寄 宿 舎 係	庶務	—	後藤佳 藤永 廣瀬	—
		保健	—	堤 新村 八川	—
		文化	—	奥切 橋口 杉野	—
		生活	—	首藤 小井手 小野	—
	総 括	舎務総括	白石	—	—
Z o o m	Zoomのサポート	—	後藤佳	—	

IV 学 校 経 営

1 教育目標

(1) 学校教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い心豊かに生きていく児童生徒を育成する。

(2) 校訓及び育てたい児童生徒像

校訓「自愛 友愛 感謝」

- ①主体的に学び、自己実現しようとする児童生徒
- ②自他を認め、協力して活動できる児童生徒
- ③考えや気持ちを豊かに表現する児童生徒

(3) 具体的な目指す児童生徒像

【小学部】

課 程	病 (精神) I , II	病 (病気)、肢 I	肢病知 II , III	肢病知IV
自立	基本的な生活リズムや学習の習慣を身に付け、自分や教師と決めたことを守って行動することができる。	自分でできそうなことに挑戦し、自分でできることを増やそうとすることができる。	新しいことに挑戦し、身の回りのできることを増やし、自分から行うことができる。	身近な人の支援を受け入れ生活リズムを整えて、健康的に過ごすことができる。
社会参加	学校生活のルールやマナーに気を付けて、周囲の人とお互いの気持ちを伝えあいながら、周りの人と一緒に活動することができる。	集団や社会の中で、自分や相手のことを認めて、ルールを守って行動することができる。	集団でのルールや社会のきまりに気を付けて、学校内外の人と関わりながら活動に参加することができる。	家族以外の人との関わりに慣れ、学校の様々な人々と関わりながら活動に参加することができる。
主体的に学ぶ	学習活動や行事での課題を意識し、自分で続けて取り組むことができる。	学習活動や行事の目的を理解し、自分から進んで取り組むことができる。	学習活動や行事に興味を示し、自分ができることに続けて取り組むことができる。	学習活動や行事に興味を示し、友だちや教師の誘いに応じて取り組むことができる。
心豊かに生きる	身近な人に自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりすることができる。	自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりして、会話や行動することができる。	出会った人と、あいさつや会話などのコミュニケーションを取ることができる。	周りの人や物と関わりながら、思ったこと感じたことを自分なりに伝えることができる。

【中学部】

課 程	病（精神）Ⅰ，Ⅱ	病（病気）Ⅰ	肢病知Ⅱ，Ⅲ	肢病知Ⅳ
自立	自分の得意なことや苦手なことを知り、自分で行動したり、周りに支援を求めたりすることができる。	自分の得意なこと、苦手なことを理解し、自分から行動したり、人に適切な支援を求めたりすることができる。	自分のことは自分で行おうとし、苦手なことを受け入れ、人に依頼することができる。	色々な人からの支援を受け入れながら、日常生活を健康的に過ごすことができる。
社会参加	集団や社会のルールやマナーを守って、周りの人と行動することができる。	集団や社会の中で、自分の意見を伝えながら周囲の人と協調して、ルールを守って行動することができる。	集団や社会のルールを守りながら、地域や社会の活動に主体的に参加することができる。	デイサービスなど、家庭以外の余暇を楽しみ、地域や社会の活動に参加することができる。
主体的に学ぶ	自分の課題に対して、学ぶ意義を理解して学び、課題を解決しようとするすることができる。	自分の課題に対して、学ぶ楽しさを感じて粘り強く学び続け、課題を解決することができる。	自分の課題に対して、興味関心を広げて多方面から学び、課題を解決しようとするすることができる。	自分の興味関心を広げ、周囲の支援者と一緒に何度も活動して楽しみながら学ぼうとするすることができる。
心豊かに生きる	自分の良さや相手のよさに気づき、適切な関わり方をするすることができる。	自他の違いに気づき、お互いを認めながら行動することができる。	自分や相手の良さに気づき、相手のことを考えてコミュニケーションを取ることができる。	様々な出来事や変化を楽しみ、自分の気持ちや意思を伝えることができる。

【高等部】

課 程	病（精神）Ⅰ，Ⅱ	病（病気）Ⅰ	肢病知Ⅱ，Ⅲ	肢病知Ⅳ
自立	自分の特性を理解して、自分で判断して行動したり、周りに適切に支援を求めたりして目的を達成することができる。	自分でできること、できないことを理解し、自分で判断して行動したり、周りに適切に支援を求めたりすることができる。	自分の生活に必要なことを自分でできるか、周りに支援を求めるか、自分で考えて行動することができる。	周りからの支援を受け入れながら、規則正しく、自分の生活を健康的に過ごすことができる。
社会参加	社会や進路先のルールやマナーを守り、周りの人と協調して活動することができる。	社会や進路先で自他の意見を尊重し、ルールやマナーを守って行動することができる。	社会や進路先のルールを守って、周りや地域や社会の活動に参加することができる。	福祉サービス等での余暇を楽しみ、地域や進路先などでの活動に参加することができる。
主体的に学ぶ	進路の方向性と関連付けて、体調や周囲の状況と折り合いを付けながら取り組むことができる。	進路の方向性と関連付けて、体調管理をしながら粘り強く取り組むことができる。	進路先で必要な作業能力を身に付けようとしたり、身の回りのことを周囲に支援を求めたりして取り組むことができる。	興味関心のあることを続けて行うなど、進路先での生活を見据え、支援者と一緒に活動することができる。
心豊かに生きる	自分や他者の個性を認めお互いを尊重して接することができる。	自分や他者の個性を認め自分から積極的にコミュニケーションを取ることができる。	他者を認め、思いやりの気持ちを持ち、誰とでもコミュニケーションを取ることができる。	身の回りの変化や出来事を楽しみ、自分なりの方法で気持ちや意思を伝えることができる。

(4) 学部目標

【小学部】

自分のできそうなことに挑戦し、学習活動や行事に主体的に取り組むとともに、自分や相手の気持ちを考え、周囲の人と関わり、集団や社会のルールや決まりを守って行動することができる。

- ・新しいことに挑戦しつつ、自分の得意なことを増やし、自分から行動することができる。
- ・様々な活動に対して、目的を理解して進んで取り組んだり、興味を示して友だちや教師の誘いに応じて取り組んだりすることができる。
- ・自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりしながら、周りの人と会話や行動ができる。
- ・集団や社会のきまりやルールを守ることが分かり、周りの人たちとともに活動に参加できる。

【中学部】

自分の得意なことや苦手なことを知り、主体的な姿勢で学び適切に行動するとともに、自他の違いに気づいて相手を認めながら周囲の人と関わり、集団や社会のルールやマナーを守って行動することができる。

- ・自分のできることは自信をもって行い、苦手なことに対しては必要な支援を周囲に伝えて行動することができる。
- ・自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりしてお互いを認め、集団や社会で活動できる。
- ・自己の課題解決に向けて興味関心を広げ、学ぶ意義を理解して主体的に学ぼうとすることができる。
- ・自分の良さや相手の良さに気づき、相手の気持ちを考えてコミュニケーションを取ろうとすることができる。

【高等部】

自分の特性を理解して、自ら考え適切に判断して行動するとともに、自他の個性を認めながら周囲の人と関わり、社会や進路先でのルールやマナーを守って行動することができる。

- ・自分でできることは行い、できないことは頼むなどの判断を自分ですることができる。
- ・学ぶことに興味や関心を持ち、自己の学習活動を振り返って進路実現に活かすことができる。
- ・自分の個性や相手の個性を認め、思いやりをもってコミュニケーションを取ることができる。
- ・自分の意見や相手の意見を尊重し、周りの人と協調して、社会や進路先で活動することができる。

2 本年度の重点目標と重点的取組

1 肢体不自由教育・病弱教育の専門性の向上

- (1) 「自立活動年間題材計画」の内容の学部間における系統性を検証（Ⅰ課程）
- (2) 「年間題材計画」を立て、学部間の系統性を検証。次年度、授業実施する上で指導に必要な教材教具の作成（Ⅱ～Ⅳ課程）
- (3) 児童生徒の特性に応じた ICT 機器の活用方法を検討し授業実践

2 関係機関と連携した学校づくり

- (1) 困難事例に対して外部専門家、SC、SSWと連携しサポート会議等を通じてチームで対応
- (2) 「実態」と「本人・保護者の思い」を取り入れた授業内容を考え、実践
- (3) 医療的ケア児童生徒が参加する校外学習を実施し、マニュアルの妥当性を検証

3 三校連携した働き方改革

- (1) 昨年度整理した内容以外の部分で、共同実施あるいは分担が可能な内容の検討と、業務内容の精選
- (2) タイムマネジメント（会議時間、教材作成の簡略化、過去作成分の使用等）

V 教育課程の概要

1 教育課程編成の基本方針

- (1) 教育基本法、学校教育法、同法施行規則及び学習指導要領に基づき、肢体不自由または病弱等の児童生徒の実態に即して編成する。
- (2) 小学部・中学部・高等部、それぞれの学部の児童生徒の実態に応じた教育を行うとともに、一貫したものになるよう編成する。
- (3) 医療機関をはじめ、関係諸機関との連携を密にし、教育効果を高められるよう編成する。

2 教育課程編成の原則

(1) 全学部共通

- ① I 課程は単一障がい（肢体不自由または病弱）の児童生徒、または知的障がいを伴わない重複障がいの児童生徒に対する編成、II・III・IV課程は知的障がいを伴う重複障がいの児童生徒に対する編成である。また、長期の入院・治療を行う児童生徒の指導形態等については、別途関係者と協議して決定する。
- ② 知的障がいを併せ有する児童生徒については、各教科等の全部又は一部について、合わせて授業を行う。また、各教科の目標及び内容に関する事項の一部を、特別支援学校学習指導要領「知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校」の各教科の目標及び内容の一部によって替える。
- ③ 複数の障がいを併せ有し、障がいの状況により特に必要がある場合には、各教科、特別の教科道徳若しくは特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は各教科、若しくは総合的な学習・探究の時間に替えて、自立活動を主として行う。

(2) 小学部

- ① I 課程の各教科の目標・内容は、小学校学習指導要領に示すものに準じ、特に基礎的・基本的な事項を重視する。また、自立活動の学習内容と合理的配慮の提供を踏まえた指導を行う。
- ② II 課程およびIII課程の生活、およびIV課程の音楽、図工以外の各教科の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。
- ③ IV課程の特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。

(3) 中学部

- ① I 課程の各教科の目標・内容は、中学校学習指導要領に示すものに準じ、特に基礎的・基本的な事項を重視する。また、自立活動の学習内容と合理的配慮の提供を踏まえた指導を行う。
- ② II 課程の社会、理科、職業・家庭の内容の一部、およびIII課程の社会、理科、職業・家庭、外国語の内容の一部、およびIV課程の音楽、美術以外の各教科の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。
- ③ IV課程の特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。

(4) 高等部

- ① I 課程の各教科の目標・内容は、高等学校学習指導要領に示すものに準じ、特に基礎的・基本的な事項を重視する。また、自立活動の学習内容と合理的配慮の提供を踏まえた指導を行う。自立と社会参加に向けた学習を効果的に実施するため、学校設定教科として「産業社会と人間」を設定する。
- ② II 課程の社会、理科、職業の内容、およびIII課程の社会、理科、職業、家庭の内容、およびIV課程の音楽、美術以外の各教科の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。
- ③ 特別の教科道徳の内容は、教育活動全体を通して行う。

3 各課程の詳細

	対象	準拠・編成の原則	指導の形態	到達目標																											
I 課程	<p>肢体不自由、病弱または肢体不自由に病弱を併せ有する者のうち、応用、総合の能力があり、論理的、抽象的、系統的な学習を行うことが適当と判断される児童生徒。</p>	<p>○小学校、中学校、高等学校（普通科）に準ずる教育を行う。</p> <p>○高等部に自立と社会参加に向けた学習を効果的に行うため、学校設定教科「産業社会と人間」を設定する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td colspan="3">各教科</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>学校設定教科</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>専門科目</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別の教科 道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">外国語活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </table>	小	中	高	各教科					学校設定教科			専門科目	特別の教科 道徳			特別活動			自立活動			外国語活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○障がいによる学習上又は生活上の困難の改善・克服及び、心身の調和的発達を図る。</p> <p>○「基礎的・基本的な知識及び技能」の習得と課題解決のための「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。</p>
小	中	高																													
各教科																															
		学校設定教科																													
		専門科目																													
特別の教科 道徳																															
特別活動																															
自立活動																															
外国語活動																															
総合的な学習・探究の時間																															
II 課程	<p>主たる障がいや肢体不自由または病弱者のうち、軽度の知的障がいや有する者で、抽象化、系統化、応用、総合等に困難があるが、学習の習熟度、経験不足等を勘案すれば各教科の内容を扱うことが適当と判断される児童生徒。</p>	<p>○知的障がい特別支援学校の教育に準じ、「各教科」と「各教科等を合わせた指導」を中心に行う。各教科の目標・内容は、知的障がい特別支援学校に準ずる。</p>	<table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td colspan="3">日常生活の指導</td> </tr> <tr> <td>遊びの指導</td> <td colspan="2">作業学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">生活単元学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">教科別の指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別の教科 道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </table>	小	中	高	日常生活の指導			遊びの指導	作業学習		生活単元学習			教科別の指導			特別の教科 道徳			特別活動			自立活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○基礎的・基本的な事項に重点を置き、集団生活の基礎となる力の育成を図る。</p>
小	中	高																													
日常生活の指導																															
遊びの指導	作業学習																														
生活単元学習																															
教科別の指導																															
特別の教科 道徳																															
特別活動																															
自立活動																															
総合的な学習・探究の時間																															
III 課程	<p>主たる障がいや肢体不自由または病弱者のうち、中度の知的障がいや有する者で、抽象化、系統化、応用、総合等に困難があり、各教科の内容は生活に関する基礎的なものを主に扱うことが適当と判断される児童生徒。</p>	<p>○知的障がい特別支援学校の教育に準じ、「各教科等を合わせた指導」を中心に行う。各教科の目標・内容は、知的障がい特別支援学校に準ずる。</p>	<table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td colspan="3">日常生活の指導</td> </tr> <tr> <td>遊びの指導</td> <td colspan="2">作業学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">生活単元学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">教科別の指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別の教科 道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </table>	小	中	高	日常生活の指導			遊びの指導	作業学習		生活単元学習			教科別の指導			特別の教科 道徳			特別活動			自立活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○体験的な活動を通じて、身辺自立及び日常生活の基本的な習慣を身につけながら、集団生活及び社会生活への主体的な参加を図る。</p>
小	中	高																													
日常生活の指導																															
遊びの指導	作業学習																														
生活単元学習																															
教科別の指導																															
特別の教科 道徳																															
特別活動																															
自立活動																															
総合的な学習・探究の時間																															
IV 課程	<p>主たる障がいや肢体不自由または病弱者のうち、重度の知的障がいや有し、身体・感覚の諸機能にさまざまに働きかけることが適当であると判断される児童生徒。</p>	<p>○知的障がい特別支援学校の教育に準じ、主として「自立活動」に重点をおくとともに、一部「各教科等を合わせた指導」を中心に行う。</p>	<table border="1"> <tr> <td>小</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td colspan="3">日常生活の指導</td> </tr> <tr> <td>遊びの指導</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3">教科別の指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </table>	小	中	高	日常生活の指導			遊びの指導			教科別の指導			特別活動			自立活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○生命・健康の維持を図り、感覚・運動機能の向上に努めながら、集団生活や社会生活への参加を図る。</p>						
小	中	高																													
日常生活の指導																															
遊びの指導																															
教科別の指導																															
特別活動																															
自立活動																															
総合的な学習・探究の時間																															

4 教育課程の構造

		学校教育目標		学部教育目標		各教科														特別の教科 道徳	特別活動	自立活動	外国語活動	総合的な学習・探究の時間	
		日常生活の指導	遊びの指導	生活単元学習	作業学習	国語	社会・歴史・公民	算数・数学	理科	生活	体育・保健体育	音楽	図画工作・美術	外国語	家庭・技術家庭 職業・家庭	情報	学校設定教科	専門科目	特別の教科 道徳	特別活動	自立活動	外国語活動	総合的な学習・探究の時間		
小学部	(単一障がい)	肢体不自由Ⅰ課程				国語	社会	算数	理科	生活	体育	音楽	図工	外国語	家庭		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立	外活	総学		
		病弱Ⅰ課程				国語	社会	算数	理科	生活	体育	音楽	図工	外国語	家庭		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立	外活	総学		
	(重複障がい)	重複Ⅰ課程				国語	社会	算数	理科	生活	体育	音楽	図工	外国語	家庭		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立	外活	総学		
		Ⅱ課程				国語		算数		生活	体育	音楽	図工					学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立			
	Ⅲ課程				国語		算数		生活	体育	音楽	図工					学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立				
	Ⅳ課程				国語		算数		生活	体育	音楽	図工					学校設定教科	専門科目	*	特活	自立				
中学部	(単一障がい)	肢体不自由Ⅰ課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	技家		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立		総学		
		病弱Ⅰ課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	技家		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立		総学		
	(重複障がい)	重複Ⅰ課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	技家		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立		総学		
		Ⅱ課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	職・家		学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立		総学		
	Ⅲ課程				国語		数学			保健	音楽	美術					学校設定教科	専門科目	特道徳	特活	自立		総学		
	Ⅳ課程				国語		数学			保健	音楽	美術					学校設定教科	専門科目	*	特活	自立		総学		
高等部	(単一障がい)	肢体不自由Ⅰ課程				国語	地理・歴史・公民	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	家庭	情報	産業社会と人間	農業	工業	商業	家庭	特活	自立	総探	
		病弱Ⅰ課程				国語	地理・歴史・公民	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	家庭	情報	産業社会と人間	農業	工業	商業	家庭	特活	自立	総探	
	(重複障がい)	重複Ⅰ課程				国語	地理・歴史・公民	数学	理科		保健	音楽	美術	外国語(英語)	家庭	情報	産業社会と人間	農業	工業	商業	家庭	特活	自立	総探	
		Ⅱ課程				国語		数学			保健	音楽	美術		家庭			産業社会と人間	農業	工業	商業	家庭	*	特活	自立
	Ⅲ課程				国語		数学			保健	音楽	美術					産業社会と人間	農業	工業	商業	家庭	*	特活	自立	総探
	Ⅳ課程				国語		数学			保健	音楽	美術					産業社会と人間	農業	工業	商業	家庭	*	特活	自立	総探

*…小中学部Ⅳ課程、高等部ⅡⅢⅣ課程の特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。

5 校時表

	小学部	中学部	高等部
8:45	朝の会	朝の会	朝の会
9:00	1限	1限	1限
9:45		9:45	9:45
9:50	2限	9:50	9:50
10:35		10:40	10:40
10:45	3限	10:45	10:45
11:30		11:35	11:35
11:35	4限	11:40	11:40
12:20	給食 ・ 昼休み	12:30	12:30
13:20	5限	13:30	13:30
14:05		14:20	14:20
14:10	6限	14:25	14:25
14:55	帰りの会	15:15	15:15
15:05		15:25	15:25

※ 上表の中で、下線のある時刻にチャイムが鳴る。

VI 教育計画

1 道徳教育の全体計画



2 キャリア教育の全体計画



3 人権・平和教育の全体計画

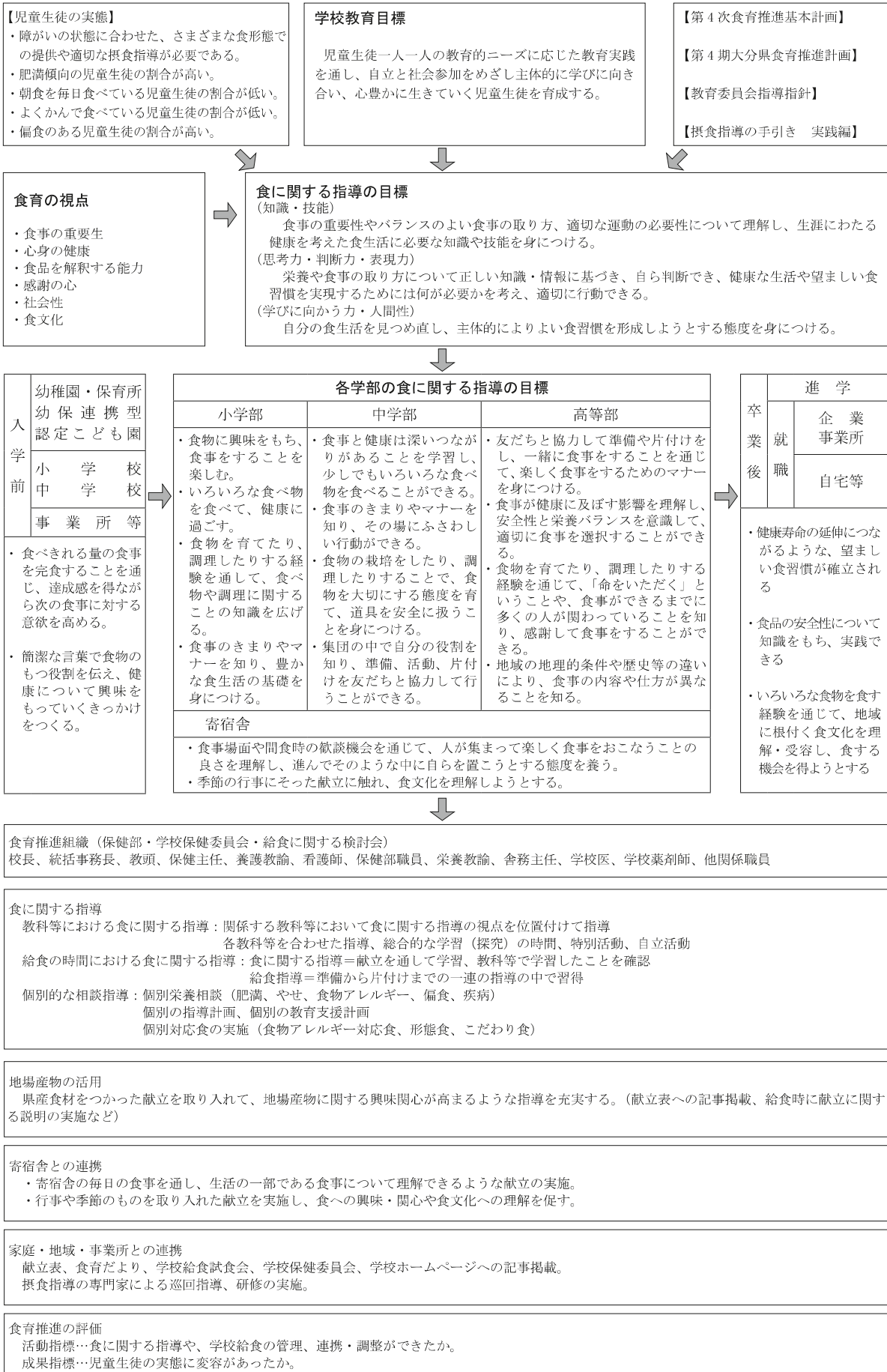
<p>関係法規等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界人権宣言 ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○人権教育啓発推進法 ○人権教育・啓発に関する基本計画 ○人権教育の指導方法の在り方について「第三次とりまとめ」 ○部落差別解消法 ○障害者差別解消法 	<p>学校教育目標</p> <p>児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い、心豊かに生きていく児童生徒を育成する。</p>	<p>人権課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同和問題（部落差別・学習環境） ○女性（固定的役割分担意識） ○子ども（安心できる環境づくり） ○高齢者（交流の場の充実） ○障がい者（理解促進・適切な支援・共生に対する理解促進） ○外国人（正しい理解と共生） ○医療（偏見や差別の解消） ○性的少数者の人権問題（LGBTQ+） ○様々な人権問題（拉致問題・SNSトラブルの防止 等）
<p>人権・平和教育全体目標</p>		
<p>1 日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、互いを認め合い友だちと仲良くすることの大切さに気づかせ、豊かな人間関係を育てる。</p> <p>2 人権学習や平和学習を通して、自分や他人の命の大切さに気づかせ、差別や偏見に対し正しい判断に基づいて行動できる態度を育てる。</p>		

人権・平和教育基本方針
<p>学校教育活動全体を通して、一人一人の発達の段階や特性、障がいの状態に応じて、互いの立場を認め合い差別や偏見に対し正しい判断に基づいて行動できる態度を育成する。</p>

各学部の目標	
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、友だちと仲良くし、一人一人の違いを認め合う気持ちを育てる。 ○人権学習、平和学習や日常の学習を通して、命の大切さがわかり、日常生活の中で自他の命を尊重する態度を育てる。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、友だちと協力し、お互いに認め合い助け合う心を育てる。 ○人権学習、平和学習や日常の授業を通して、あらゆる人権問題を自らの課題として解決しようとする態度を育てる。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、自分の役割を果たしながら他者と協力し、みんなで支え合う仲間づくりをする生徒を育てる。 ○人権学習、平和学習や日常の授業を通して、あらゆる人権問題を自らの課題としてとらえ、主体的に解決していこうとする態度を育てる。

家庭・地域・関係機関との連携					
職員研修	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内組織	啓発活動
<ul style="list-style-type: none"> ○全国人権同和教育研究大会 ○九州地区人権・同和教育夏期講座 ○ヒューライツフォーラム ○校内人権教育研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○別府市人権教育学級 	<ul style="list-style-type: none"> ○居住地校交流（小・中希望者） ○学校間交流 鶴見小学校 青山中学校 鶴見校 近隣の高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○大分県人権教育・部落差別解消推進課 ○別府市共生社会実現・部落差別解消推進課 ○大分県人権・部落差別解消教育研究協議会 ○別府市人権教育・部落差別解消推進研究会 ○別府地区高等学校人権教育・部落差別解消研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育推進委員会 ○研修部人権・平和教育係 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページ ○ふれあい作品展 ○学校行事のお知らせ活動（ポスター配布）

4 食に関する指導の全体計画



5 学校保健年間計画

月	保健目標	学校保健関係行事	保健管理	健康教育	環境管理
4	健康診断を受け健康状態を把握しよう	安全委員会 給食に関する検討会 救急法講習会 身体測定・心電図 検尿(1次) 定期健康診断	医ケア・アレルギー手続き 校内緊急体制・個別の緊急対応マニュアルの確認 定期健康診断の実施 保健調査・問診票の整理 与薬に関する手続き フッ化物洗口について校医との打ち合わせ	保健調査票チェック者面談 保健室の利用について(新転入生) 健康診断事前指導 健康相談	飲料水検査 薬品点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付 AEDバッテリー点検 照度検査
5	自分の健康管理(熱中症予防)をしよう	安全委員会 定期健康診断 内科・耳鼻科、整形・眼科・結核 緊急時対応研修(各学部) PTA総会(保健部提案) 検尿(2次)	定期健康診断の実施 日本スポーツ振興センター ・事務手続き	健康診断事前及び事後指導 けがの防止 熱中症予防 健康相談	飲料水検査 運動場の気温測定 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付 AEDバッテリー点検
6	歯を大切にしよう	安全委員会 定期健康診断 歯科・内科・整形外科検診	定期健康診断の実施 水泳前の健康調査	健康診断事前及び事後指導 健康相談 むし歯予防 熱中症予防 水泳時の安全	飲料水検査 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付 プールの水質検査 AEDバッテリー点検
7	夏を健康に過ごそう	安全委員会	定期健康診断結果の集計 保健室利用状況統計	健康診断事後指導 健康診断結果配付 食中毒予防 熱中症予防 保健便り発行 夏休み前の治療の呼びかけ	石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付 AEDバッテリー点検
8		医療的ケア職員研修			室温管理・ダニアレルギー検査
9	心の健康に気をつけよう	安全委員会 身体測定(小～高)	フッ化物洗口新規保護者説明会 健康状況・服薬調査 個別の緊急時対応マニュアルの確認 修学旅行前保護者説明会 修学旅行事前健康調査	熱中症予防 保健教育(掲示物) 健康相談 食中毒予防	飲料水検査 教室の空気検査 室温管理 AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付
10	目を大切にしよう	安全委員会 修学旅行(小・高)	修学旅行の健康・安全 ドリームフェスティバル事前 感染対策	修学旅行前の保健指導 健康相談	AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付
11	感染症の予防に努めよう	安全委員会	感染症の予防と対応 ドリームフェスティバル感染対策	感染症 換気の励行 感染症予防 健康相談 修学旅行時の健康	湿度調整 換気 AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付
12	感染症の予防に努めよう	安全委員会	冬期流行感染症の予防と対応 保健室利用状況統計 定期健康診断集計	うがい・手洗いの励行 湿度・衣服の調節 換気の励行 感染症予防 健康相談 保健便り発行	湿度調整 換気 室温管理 教室の空気検査 AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付
1	冬の健康管理をしよう	身体測定 安全委員会 医ケア対象児童生徒保護者説明会(継続申請者)	服薬調査 定期健康診断統計調査 食物アレルギー調査 個別の緊急時対応マニュアルの確認	うがい・手洗いの励行 換気の励行 感染症予防 咳エチケット 湿度・衣服の調節 健康相談	湿度調整 換気 AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付
2	生活習慣を確立しよう	安全委員会 学校保健委員会・給食委員会 医ケア、給食アレルギー対応対象児童生徒保護者説明会(新転入学生 小・中)	次年度保健年間計画立案	うがい・手洗いの励行 換気 湿度・衣服の調節 健康相談	湿度調整 換気 AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付
3	1年間の健康生活の反省をしよう	安全委員会 医ケア、給食アレルギー対応対象児童生徒保護者説明会(新入学生 高)	1年間のまとめ 保健室利用状況統計	健康相談 保健便り発行	環境整備、 AEDバッテリー点検 石鹸設置・消毒用アルコールの補充・物品消毒用ボトルの配付

○ヒヤリハット事例は、全員供覧。対応については学部会や寄宿舎部会で早めに共通理解。
全職員で共通理解が必要であれば職員朝礼で報告。緊急時対応訓練は、4月以降は必要時に実施。
○給食に関する検討会は、1学期始業式前に実施。その後は、必要に応じて実施。

6 学校安全計画

○児童生徒対象 ●教職員対象

月	月目標	安全教育										安全点検		●学校安全に関する職員研修			
		○安全学習					○安全指導					●対人管理	●対物管理				
		教科・領域の分野					学級活動(生活安全)										
保健体育	理科	美術	生活・家庭	選択・作業	自立活動	総学/総探	小学部	中学部	高等部	寄宿舎	交通安全	主な学校行事					
4	新しい環境によう	体育設備・施設の使用と点検	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	健康の保持 環境の把握 心理的安定 身体的動き 人間関係の形成	学校の環境把握 避難経路の確認	集団行動と安全 避難経路の確認	身の回りの環境と安全 避難経路の確認	避難経路の確認	登下校の安全	PTA総会	始業式 入学式 対面式 PTA総会	児童生徒の登下校把握	防火・防災安全点検	●春の交通安全 救急法講習 （保健部） 捜索訓練
5	スポーツ大会を安全に成功させよう	スポーツ大会の安全 練習や当日の安全	実験器具の点検と使い方	材料の使い方	調理器具や電気製品の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	健康の保持 環境の把握 心理的安定 身体的動き 人間関係の形成	スポーツ大会での安全	グループでの安全 危険箇所の確認 シミュレーション 防災学習 避難訓練	グループでの安全 危険箇所の確認 シミュレーション 防災学習 避難訓練	火災避難訓練	自転車の安全利用	スポーツ大会	引渡し手続きの確認	防火・防災安全点検	●危機管理マニュアル アル周知	
6	プールを安全に利用しよう	救急法・心肺蘇生法	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	プールでの安全 危険箇所の確認 シミュレーション 防災学習 避難訓練	プールでの安全 危険箇所の確認 シミュレーション 防災学習 避難訓練	プールでの安全 危険箇所の確認 シミュレーション 防災学習 避難訓練	プールでの安全 危険箇所の確認 シミュレーション 防災学習 避難訓練	雨の日の交通安全	プール開き 現場実習 校外学習	児童生徒の健康観察 避難経路の確認	防火・防災安全点検	●水難救助救急法 （体育科） 国民安全の日 （1日） 防災避難訓練 防災対策委員会		
7	夏休みを安全に過ごそう	健康な身体づくり	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	校外学習の安全 夏休みの生活 避難所の確認 球技大会の安全	校外学習の安全 夏休みの生活 避難所の確認 球技大会の安全	校外学習の安全 夏休みの生活 避難所の確認 球技大会の安全	校外学習の安全 夏休みの生活 避難所の確認 球技大会の安全	公共交通機関の利用とマナー	終業式 球技大会（高）	夏休みの過ごし方 避難所の把握	防火・防災安全点検	●防災研修 福祉避難所マニュアル 及びPOP周知 不審者対応訓練 熱中症対策		
8																	
9	体調を整えよう	体育設備・施設の点検	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	健康の保持 環境の把握 心理的安定 身体的動き 人間関係の形成	情緒の安定 災害伝言ダイヤルの試行 シミュレーション	情緒の安定 災害伝言ダイヤルの試行 シミュレーション	情緒の安定 災害伝言ダイヤルの試行 シミュレーション	災害伝言ダイヤルの試行	始業式	避難経路の確認	防火・防災安全点検（毎月）	●秋の交通安全 （1日）		
10	校外学習を安全に成功させよう	室内競技に対する安全	実験器具の点検と使い方	材料の使い方 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	校外学習の安全 修学旅行・遠足の安全	校外学習の安全 修学旅行・遠足の安全	校外学習の安全 修学旅行・遠足の安全	校外学習の安全 修学旅行・遠足の安全	危険箇所の確認	修学旅行 現場実習 校外学習	児童生徒の健康観察	防火・防災安全点検（毎月）	●インフルエンザ予防 防災研修		
11	学園祭を安全に成功させよう	救急法 心肺蘇生法	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	防災学習 地震火災避難訓練	防災学習 地震火災避難訓練	防災学習 地震火災避難訓練	防災学習 地震火災避難訓練	公共交通機関の利用とマナー	学園祭 学外学習 校外学習	児童生徒の健康観察	防火・防災安全点検（毎月）	●地震火災避難訓練 防災対策委員会 津波の日（6日）		
12	冬休みを安全に過ごそう	健康な身体づくり	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	避難所の確認 冬休みの生活 シミュレーション	避難所の確認 冬休みの生活 シミュレーション	避難所の確認 冬休みの生活 シミュレーション	避難所の確認 冬休みの生活 シミュレーション	冬季及び年末年始の交通安全	終業式 現場実習	冬休みの過ごし方 避難所の把握	防火・防災安全点検	●年末年始の交通安全		
1	体調を整えよう	体育設備・施設の点検	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	健康の保持 環境の把握 心理的安定 身体的動き 人間関係の形成	情緒の安定 防災学習 火山災害避難訓練	情緒の安定 防災学習 火山災害避難訓練	情緒の安定 防災学習 火山災害避難訓練	火山災害避難訓練	始業式 現場実習 カルタ大会（高）	児童生徒の健康観察	防火・防災安全点検（毎月）	●インフルエンザ予防		
2	冬の事故防止について確認しよう	室内競技に対する安全	実験器具の点検と使い方	材料の使い方 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	危険箇所の確認 遠足での安全	危険箇所の確認 遠足での安全	危険箇所の確認 遠足での安全	危険箇所の確認 遠足での安全	登下校の安全	校外学習 学外学習	児童生徒の健康観察	防火・防災安全点検（毎月）	●噴火避難訓練 防災対策委員会		
3	春休みを安全に過ごそう	健康な身体づくり	理科教室の使い方 薬品の使い方と保管	教材や道具の使い方と保管 作品や展示の際の注意	調理器具や電気製品の使い方と保管 裁縫道具の使い方と保管	選択科目による教材や作業道具の使い方と保管 接客への対応・コミュニケーションの育成	避難所の確認 春休みの生活 シミュレーション	避難所の確認 春休みの生活 シミュレーション	避難所の確認 春休みの生活 シミュレーション	避難所の確認 春休みの生活 シミュレーション	公共交通機関の利用とマナー	卒業式 修了式 終業式	春休みの過ごし方	防火・防災安全点検	●入選の安全配慮		

VII 小 学 部

1 指導の形態別授業時数

- (1) 単一障がい学級 肢体不自由 I 課程
 単一障がい学級 病弱 I 課程
 重複障がい学級 肢体不自由・病弱 I 課程

指 導 の 形 態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備 考
各 教 科	国 語	306	315	245	245	175	175	○下記の時間を減じて、自立活動の時間に充てる。 1・2年生…生活、体育 3・4年生…社会、音楽 5・6年生…社会、音楽 家庭、体育
	社 会	—	—	50	70	70	70	
	算 数	136	175	175	175	175	175	
	理 科	—	—	90	105	105	105	
	生 活	68	70	—	—	—	—	
	音 楽	68	70	35	35	35	35	
	図 画 工 作	68	70	70	70	70	70	
	家 庭	—	—	—	—	35	35	
	体 育	34	35	35	35	35	35	
	外 国 語	—	—	—	—	70	70	
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35	
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	
自 立 活 動		102	105	105	105	105	105	
総合的な学習の時間		—	—	70	70	70	70	
外 国 語 活 動		—	—	35	35	—	—	
総 授 業 時 数		850	910	980	1015	1015	1015	

(2) 重複障がい学級 II 課程

指 導 の 形 態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備 考
各教科等 を 合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	170	175	175	140	140	140	○日常生活の指導に充てる時間は、各学年次のように計画する。 1・2・3年生 係り仕事・朝の会 36分×5日 給食指導 9分×5日
	遊 び の 指 導	68	70	—	—	—	—	
	生活単元学習	68	70	140	140	140	140	
生 活		0	0	0	0	0	0	4・5・6年生 係り仕事・朝の会 27分×5日 給食指導 9分×5日
国 語		102	140	175	175	175	175	
算 数		102	105	105	140	140	140	
音 楽		68	70	70	70	70	70	
図 画 工 作		68	70	70	70	70	70	
体 育		34	35	35	35	35	35	
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35	
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	○生活科は、各教科等を含めた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。
自 立 活 動		102	105	140	175	175	175	
総 授 業 時 数		850	910	980	1015	1015	1015	

(3) 重複障がい学級

Ⅲ課程

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科等 を 合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	204	210	210	210	210	210	○日常生活の指導に充てる時間は、各学年次のように計画する。 1・2・3年生 排泄の指導 10分×5日 係りの仕事 15分×5日 朝の会 20分×5日 給食指導 9分×5日 4・5・6年生 排泄指導 6分×5日 係りの仕事 15分×5日 朝の会 15分×5日 給食指導 9分×5日 ○生活科は、各教科等を含めた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。
	遊びの指導	68	70	70	70	70	70	
	生活単元学習	68	70	70	70	70	70	
生 活	0	0	0	0	0	0		
国 語	68	70	105	105	105	105		
算 数	68	70	105	105	105	105		
音 楽	68	70	70	70	70	70		
図 画 工 作	68	70	70	70	70	70		
体 育	34	35	35	35	35	35		
特別の教科 道徳	34	35	35	35	35	35		
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	
自 立 活 動		136	175	175	210	210	210	
総 授 業 時 数		850	910	980	1015	1015	1015	

(4) 重複障がい学級

Ⅳ課程

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科等 を 合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	238	245	245	245	245	245	○日常生活指導に充てる時間は次のように計画する。 朝の健康観察 10分×5日 排泄指導 15分×5日 朝の会 20分×5日 歯磨き指導 9分×5日 給食指導 9分×5日 ○生活、国語、算数、体育については、各教科等を含めた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。 ○特別の教科道徳の内容は、各教科等を含めた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。
	遊びの指導	68	70	70	70	70	70	
	生活単元学習	—	—	—	—	—	—	
生 活	0	0	0	0	0	0		
国 語	0	0	0	0	0	0		
算 数	0	0	0	0	0	0		
音 楽	68	70	70	70	70	70		
図 画 工 作	34	35	35	35	35	35		
体 育	0	0	0	0	0	0		
特別の教科 道徳	0	0	0	0	0	0		
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	
自 立 活 動		408	455	525	560	560	560	
総 授 業 時 数		850	910	980	1015	1015	1015	

2 道徳科指導計画

	1 年			2 年			3 年		
	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間
4月	みんなでたのしく	友情・信頼 B(9)	1	学校大すき	よりよい学校生活 C(14)	1	友だち屋	友情・信頼 B(9)	1
	あいさつでげんきに	礼儀 B(8)	1	学校たんけん	親切・思いやり B(6)	1	電話のおじぎ	礼儀 B(8)	1
				できるよポンタくん	節度・節制 A(3)	1	ドンマイ！ドンマイ！	相互理解、寛容 B(10)	1
5月	みんなでまもろう	規則の尊重 C(10)	1	そこだよポンタくん	節度・節制 A(3)	1	千ばづる	正直・誠実 A(2)	1
	がっこうたんけん	感謝 B(7)	1	およげないりすさん	友情・信頼 B(9)	1	目をさますたね	自然愛護 D(18)	1
	わたしにできること	勤労公共の精神 C(12)	1	げんかんそうじ	家族愛 C(13)	1	清作のおてつだい	家族愛 C(13)	1
	みんなみんないきている	生命の尊さ D(17)	1	くろぶたのしっぱい	規則の尊重 C(10)	1	心の優先席	規則の尊重 C(10)	1
6月	おたんじょうびれっしや	生命の尊さ D(17)	1	あいさつがきらいな王さま	礼儀 B(8)	1	はた・らく	勤労公共の精神 C(12)	1
	きんのおの	正直・誠実 A(2)	1	やさしい村の子どもたち	公正、公平 C(11)	1	わたしのしたこと	親切、思いやり B(6)	1
	がっこうまでのみち	感謝 B(7)	1	おとうとのたんじょう	生命の尊さ D(17)	1	いのちのまつり	生命の尊さ D(18)	1
	かぼちゃのつる	節度・節制 A(3)	1	わたしたちもしごとをしたい	勤労公共の精神 C(12)	1	いただきます	生命の尊さ D(18)	1
7月	まちたんけん	伝統と文化の尊重 C(15)	1	オリンピックとパラリンピックのはた	国際理解、親善 C(16)	1	キツネおどり	伝統と文化の尊重 C(16)	1
	あおしんごう	節度・節制 A(3)	1	三べんかんがえて	節度・節制 A(3)	1	うわさ話・つらい気持ち	善悪の判断 A(1)	1
9月	ぶうたのやくめ	公正、公平 C(11)	1	ピーマンマンとよふかし大まおう	節度・節制 A(3)	1	世界-うつくしい体そらをめざして-内村航平-	個性の伸長 A(4)	1
	おとしよりといっしょに	親切・思いやり B(6)	1	わたしのおじいさん、おばあさん	家族愛 C(13)	1	ないた赤おに	友情・信頼 B(9)	1
	ぼくはいかない	善悪の判断 A(1)	1	ぐみの木と小鳥	親切・思いやり B(6)	1	郷土かるた	伝統と文化の尊重 C(16)	1
	わきだしたみず	生命の尊さ D(17)	1	ぼくのまちも、ひかってる！	伝統と文化の尊重 C(15)	1	こまるのはだれ？これっていいのかな？	規則の尊重 C(11)	1
10月	ちゃんとのたつじん①	節度・節制 A(3)	1	くつかくし	善悪の判断 A(1)	1	みんなでつくりよう！がっきゅうルールブック	規則の尊重 C(11)	1
	ちゃんとのたつじん②	節度・節制 A(3)	1	レッドカード	善悪の判断 A(1)	1	ぼくらは小さなかにはかせ	希望、勇気、努力 A(5)	1
	うちのねこ	自然愛護 D(18)	1	モムンとヘーテ	友情・信頼 B(9)	1	わたしだって	相互理解、寛容 B(10)	1
	もみじがり	伝統と文化の尊重 C(15)	1	のこぎり山の大ぶつ	公正、公平 C(11)	1	花さき山	感動、畏敬の念 D(20)	1
11月	すてきなことば「あふたあゆう」	よりよい学校生活 C(14)	1	お月さまがみている	正直・誠実 A(2)	1	思い切って言ったらどうなるの？	善悪の判断 A(1)	1
	ぼくはずかしいや	正直・誠実 A(2)	1	ジョゼくんとおりがみ	国際理解、親善 C(16)	1	いちようの木をまもるために	よりよい学校生活 C(15)	1
	はしのうえのおおかみ	親切・思いやり B(6)	1	はたけの先生	感謝 B(7)	1	ぼく知らなかったよ	感謝 B(7)	1
	ルールがないとどうなるの	規則の尊重 C(10)	1	うつくしいもの、うつくしいところ	感動、畏敬の念 D(19)	1	お母さん、なぜでねこむちびまる子ちゃん-	家族愛 C(14)	1
12月	一にち十ぶん	希望、勇気、努力 A(5)	1	おかあさんとのやくそく	善悪の判断 A(1)	1	生きたれいぎ	礼儀 B(8)	1
	だいじなわすれもの	礼儀 B(8)	1	かいらんばん	伝統と文化の尊重 C(15)	1	太郎のいどう教室	節度・節制 A(3)	1
1月	エマさんのこたえあわせ	国際理解、親善 C(16)	1	小さなできごと	礼儀 B(8)	1	おばあちゃんのおせち	感謝 B(7)	1
	ひつじかいとおおかみ	善悪の判断 A(1)	1	きれいになつたずこうしつ	勤労公共の精神 C(12)	1	四人五きやく	よりよい学校生活 C(15)	1
2月	なまはげ	善悪の判断 A(1)	1	おりがみ名人	希望、勇気、努力 A(5)	1	きょうりよくクラス	友情・信頼 B(9)	1
	ぎんのしずく	家族愛 C(13)	1	ミーポーしんぶん	個性の伸長 A(4)	1	やくそくだもん	規則の尊重 C(11)	1
	二わのことり	友情・信頼 B(9)	1	とくべつなたからもの	親切・思いやり B(6)	1	お日さまの心で	公正、公平 C(12)	1
	ぼくにもあるかな	個性の伸長 A(4)	1	一まいのしやしん	生命の尊さ D(17)	1	赤い灯ゆれる	友情・信頼 B(9)	1
3月	ひしゃくぼし	感動、畏敬の念 D(19)	1	わたしものがたり	生命の尊さ D(17)	1	うみねことたんぼぼ	生命の尊さ D(17)	1
	もうすぐ二ねんせい	よりよい学校生活 C(14)	1	さくらの木といっしょに	自然愛護 D(18)	1	海をわたるランドセル	国際理解、親善 C(17)	1
	時間合計		34	時間合計		35	時間合計		35

	4 年			5 年			6 年		
	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間
4月	貝がら	相互理解、寛容 B(10)	1	帰ってきた、はやぶさ	真理の探究 A(6)	1	一年生のお世話係ーアフター・ユースー	よりよい学校生活 C(16)	1
	みんなのためにできること	勤労、公共の精神 C(13)	1	一枚の写真から	生命の尊さ D(19)	1	松井さんの笑顔	感謝 B(8)	1
	サッカーボール	善悪の判断 A(1)	1	ひみつのトレーニング	節度、節制 A(3)	1	温かいおまんじゅう	礼儀 B(9)	1
5月	十さいのプレゼント	感動、畏敬の念 D(20)	1	シンボルマークにこめられたものは	伝統と文化の尊重 C(17)	1	夢に向かってー三浦雄一郎ー	希望、勇気、努力 A(5)	1
	さか上がり	よりよい学校生活 C(15)	1	助け合い傘	感謝 B(8)	1	陽子、ドンマイ!	友情、信頼 B(10)	1
	お母さんのせいきゅう書	家族愛 C(14)	1	氷上の挑戦ー浅田真央ー	希望、勇気、努力 A(5)	1	きみの声が聞きたい	真理の探究 A(6)	1
	かさ	親切、思いやり B(6)	1	まかせてみようよ	相互理解、寛容 B(11)	1	本屋のお姉さん	正直、誠実 A(2)	1
6月	ねがいをつみ上げた石橋	伝統と文化の尊重 C(16)	1	みんなの劇	相互理解、寛容 B(11)	1	世界がおどろく七分間清掃	勤労、公共の精神 C(14)	1
	どっちがいいか	規則の尊重 C(11)	1	いっしょに何をしようかな	国際理解、親善 C(18)	1	かっこいいお父さん	家族愛 C(15)	1
	自分たちにできるエコ活動	規則の尊重 C(11)	1	ガンジーのいかり	公正、公平 C(13)	1	本当にだいじょうぶ?	節度、節制 A(3)	1
	わたしのゆめ	個性の伸長 A(4)	1	日本の心とかたちー真・行・草ー	礼儀 B(9)	1	「マナーからルールへ、そしてマナーへ」	規則の尊重 C(12)	1
7月	良太のはんだん	公正、公平 C(12)	1	救急車	規則の尊重 C(11)	1	いらなくなってきたまり	規則の尊重 C(12)	1
	早起きは三文の徳	節度・節制 A(3)	1	海を耕す人たち	自然愛護 D(20)	1	自然のゆりかご	自然愛護 D(20)	1
9月	ゲームのやくそく	友情・信頼 B(9)	1	ドッジボールを百倍楽しくする方法	友情、信頼 B(10)	1	広村堤防の清掃ボランティア	勤労、公共の精神 C(13)	1
	石油列車、東北へ向かって走れ!	感謝 B(7)	1	「スイミー作戦」「ガンジー作戦」	公正、公平 C(13)	1	鑑真和上	希望、勇気、努力 A(5)	1
	ぼくはMVP	正直・誠実 A(2)	1	短所も長所	個性の伸長 A(4)	1	森川君のうわさ	公正、公平 C(13)	1
	学級新聞作り	相互理解、寛容 B(10)	1	セルフジャッジ	規則の尊重 C(12)	1	地球があぶない	自然愛護 D(20)	1
10月	心の体温計	節度・節制 A(3)	1	世界の文化遺産	伝統と文化の尊重 C(17)	1	技術で「障がい」をなくしたいー遠藤謙一ー	真理の探究 A(6)	1
	せきが空いているのに	親切、思いやり B(6)	1	家族の紹介	家族愛 C(15)	1	お茶の心	伝統と文化の尊重 C(17)	1
	ブラジルからの転入生	友情・信頼 B(9)	1	変えたもの、変えなかったものー内川聖一ー	個性の伸長 A(4)	1	いちばん近い自然「里山」	伝統と文化の尊重 C(17)	1
	みかん出し	勤労、公共の精神 C(13)	1	星が光った	感動、畏敬の念 D(21)	1	ブランコ乗りとピエロ	相互理解、寛容 B(11)	1
11月	雨のバスでいりゅう所で	規則の尊重 C(11)	1	約束	相互理解、寛容 B(11)	1	これが日本	伝統と文化の尊重 C(17)	1
	せいはいっぱい生きる	生命の尊さ D(18)	1	命をかけて命を守るー山岳警備隊ー	生命の尊さ D(19)	1	フーバーさん	国際理解、親善 C(18)	1
	鳥にのこしたかきの実	自然愛護 D(19)	1	生きる力を引き出す笑い	生命の尊さ D(19)	1	六千人の命を救った決断ー杉浦千敬一ー	公正、公平 C(13)	1
	「祭り日」	友情・信頼 B(9)	1	働く幸せーチョーク工場の本田さんー	勤労、公共の精神 C(14)	1	すあしにサンデルの天板ーマザー・テレサー	よりよく生きる D(22)	1
12月	十六番目の代表選手	友情・信頼 B(9)	1	藤井駅のホームのできごと	親切、思いやり B(7)	1	命のおにぎり	親切、思いやり B(7)	1
	ノーベル賞の生みの親ーアルフレッドノーベルー	希望、勇気、努力 A(5)	1	自然を守るエゾリス	自然愛護 D(20)	1	誠実な人ー吉田松陰ー	正直・誠実 A(2)	1
1月	えがおの花大作戦	よりよい学校生活 C(15)	1	「また来てね」	正直・誠実 A(2)	1	めざせ、百八十回!	個性の伸長 A(4)	1
	百羽のつる	感動、畏敬の念 D(20)	1	心の管理人	善悪の判断 A(1)	1	最後のひと葉	親切、思いやり B(7)	1
2月	ぼくの生まれた日ードラえもんー	家族愛 C(14)	1	ふるさとー六年生を送る会ー	よりよい学校生活 C(16)	1	生命のメッセージ	生命の尊さ D(19)	1
	図書館で	規則の尊重 C(11)	1	ミレーとルソー	友情、信頼 B(10)	1	命と向き合う人生	生命の尊さ D(19)	1
	お礼の手紙	礼儀 B(8)	1	富士観測所をつくるために	希望、勇気、努力 A(5)	1	負けないで	生命の尊さ D(19)	1
	さくらのかけ橋	国際理解、親善 C(17)	1	明日へ向かって	勤労、公共の精神 C(14)	1	大空に飛び立つ鳥	善悪の判断 A(1)	1
3月	レスキュー隊	生命の尊さ D(18)	1	ちひろの思い	勤労、公共の精神 C(14)	1	青の洞門	感動、畏敬の念 D(21)	1
	五百人からもらった命	生命の尊さ D(18)	1	マララ・ユスフザイー「人の少女が世界を変える」	よりよく生きる D(22)	1	わたしはひろがる	よりよく生きる D(22)	1
	時間合計		35	時間合計		35	時間合計		35

3 外国語活動指導計画

(1) 外国語活動の名称 ハロータイム

(2) 実施学年 小学部 I 課程 3年1名 (児童数1名 指導者数1名)
4年2名 (児童数2名 指導者数1名)

(3) 学習計画

①目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- i 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ii 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- iii 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

②年間指導計画

【第3学年】(35時間)

月	単元名	単元目標	学習活動	時間数
4月 5月 6月 7月	Hello! あいさつをして 友だちになろう	<ul style="list-style-type: none"> ・世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ・名前を言って挨拶をし合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のいろいろな国の挨拶を聞く。 ・音声を聞き、国旗と世界の子どもたちとを線で結ぶ。 ・ペアになって挨拶し、名前を言い合う。 <p>Hello. Hi. I'm (). Goodbye. See you.</p>	2
	How are you? ごきげんいかが?	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーの大切さに気づき、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。 ・表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、登場人物と様子を表すイラストを線で結ぶ。 ・それぞれのジェスチャーについて、どんなことを表しているかを知る。 ・児童同士で、様子を尋ねたり、ジェスチャーをつけて答えたりする。 <p>How are you? I'm (happy). fine happy good sleepy hungry tired sad great</p>	2
4月 5月 6月 7月	How many? 数えてあそぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気づき、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ・数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の周りの任意の数字におはじきを置き、おはじきを置いている数字が発音されたら、おはじきを取る。 ・じゃんけんをし、その結果を表に○(勝ち)△(あいこ)×(負け)で記入する。 ・デジタル教材を視聴し、どの国の数の言い方か、□に番号を記入する。 ・デジタル教材の画面に映し出されるものについて、数を尋ねたり答えたりする。 ・好きな数だけりんごの色を塗り、児童同士でりんごの数を尋ね合う。 ・画数を尋ねたり答えたりして、好きな漢字を紹介し合う。 <p>How many ()? Yes. That's right. No. Sorry. Ball pencil crayon circle apple tomato</p>	4

	I like blue. すきなものをつ たえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方がることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・自分の好みを伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の虹を自由に塗り、自分の虹を完成させる。 ・デジタル教材を視聴し、世界の子供たちの描く虹を見て、それぞれの違いに気付く。 ・音声を聞き、それぞれの登場人物が好きな色を選んで線で結ぶ。 ・音声を聞き、登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を表に記入する。 ・会話を聞き、登場人物の好きなものを○で囲む。 ・登場人物が好きかどうかを予想して○か△を書き、その予想が合っているかを確かめるために登場人物にDo you like~?と尋ねる。 ・表にあるものについて、友だちの好みを予想し、インタビューをして確かめ、その結果を□に記入する。 ・好きなものと言って自己紹介する。 I like (). Do you like (). Yes, I do. / No, I don't. I don't like (). 	4
9月 10月 11月 12月	What do you like? 何がすき?	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の任意のイラスト上におはじきを置き、おはじきを置いている絵の語が発音されたら、おはじきを取る。 ・音声を聞き、それぞれの登場人物が好きなものを選んで線で結ぶ。 ・ペアで互いにどんな果物が好きかを予想して尋ね、分かったことを表に記入する。 ・デジタル教材を視聴し、登場人物が何が好きかを予想して、それを確認するために、What~do you like?と登場人物に尋ねる。 ・児童同士で好きなもの(食べ物、色など)を尋ね合い、表に記入する。 What do you like? I like (). Tennis soccer food pizza steak grapes 	4
	ALPHABET アルファベット となかよし	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、さまざまな標示が何を表しているかを考えながら、アルファベットの大文字を知る。 ・アルファベットの大文字を自由に仲間分けし、カードを貼る。 ・自分や友だち、家族などの頭文字のカードをもらって貼る。 (), please. Here you are. Thank you. You're welcome. 	4
1月 2月 3月	This is for you. カードをおくろ う	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して、さまざまなシルエットを見てそれが何かを当てたり、さまざまな形の窓を開けて後ろに隠れているものが何かを当てたりする。 ・音声を聞き、聞いた形をさし示す。 ・デジタル教材を視聴し、世界にはさまざまなグリーティングカードがあることを知る。 ・欲しい形をやり取りする音声を聞き、誰がどの作品を作ったのかを考えて線で結ぶ。 ・いろいろな色の形を集め、プレゼントするグリーティングカードを作る。 What do you want? (), please. Here you are. This is for you.. Thank you. You're welcome. 	5

1月 2月 3月	What's this? これなあに？	<ul style="list-style-type: none"> ・外来語とそれが由来する英語の違いに気づき、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・クイズを出したり答えたりし合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡に映るものを見て、それが何かを当てる。 ・映像を視聴し、それが何かを当てる。 <p>What's this? Hint, please. It's (). That's right.</p>	5
	Who are you? きみはだれ？	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気づき、誰かと尋ねたり、それに答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・絵本などの短い話を聞いて、およその内容が分かる。 ・絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵本についての質問に答えたりする。 ・台詞を真似て言う。 <p>Are you ()? Yes, I am. / No, I'm not. Who are you? I'm (). Who am I? Hint, please.</p>	5

【第4学年】(35時間)

月	単元名	単元目標	学習活動	時間数
4月 5月 6月 7月	Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。 友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、さまざまな挨拶の仕方を知り、気付いたことを□に記入する。 音声を聞いて、どの国の挨拶かを考え、□に番号を記入する。 友達と挨拶をし、友達の名前と好きなものを表に記入する。 デジタル教材を視聴し、午前、午後、就寝前の英語での挨拶の仕方を知る。 音声を聞き、登場人物の名前や好きなものなどを聞き取って、□に記入する。 教室を歩いてペアになり、挨拶をして好きなものやことを伝え合い、相手について分かったことを表に記入する。 <p>Hello. Good [morning / afternoon/ night]. I like (). Goodbye. See you.</p>	2
	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、日本や世界の子どもたちの遊びの様子を視聴し、分かったことを発表する。 絵カードを見ながら言う。 音声を聞き、登場人物と該当する遊びを線で結ぶ。 音声で天気と衣類について聞き、天気と衣類を線で結ぶ。 デジタル教材を視聴し、世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。 音声で、国名と天気を聞き取り、□に天気の絵を描く。 <p>Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. How's the weather? It's [sunny/ rainy / cloudy /snowy]. Stand up./Sit down. /Stop./Walk. / Jump. /Run. /Turn around.</p>	4
	I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	<ul style="list-style-type: none"> 世界の同年代の子どもたちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子どもたちの平日の放課後や週末の過ごし方を知る。 教室を歩いて回りペアになって、学級でしたい遊びについて紹介し合い、表に記入する。 登場人物の子どもの一週間の予定を聞き、そのあとの曜日クイズに答える。 自分の一週間の予定について、曜日クイズを出し合う。 デジタル教材で、登場人物が曜日や遊びについてやり取りする様子を視聴し、分かったことを□に記入する。 教室を歩いてペアになり、自分と同じ曜日が好きな人を見つける。 <p>What's day is it? It's (). Do you like ()? Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday Sunday mushroom watermelon soup pie sandwich fresh</p>	3

4月 5月 6月 7月	What time is it? 今、何時？	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の視聴を通して、登場人物がどの時刻に何をするか、時刻と日課を線で結ぶ。 デジタル教材を視聴し、時計を完成させ、時刻と日課を線で結ぶ。 登場人物の好きな時刻を聞き取り、時計を完成させる。 気に入っている時刻とその理由を伝え合う。 <p>What time is it? It's (). How about you? forty fifty wake-up breakfast study lunch snack dinner homework TV bath bed dream</p>	4
9月 10月 11月 12月	Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、文房具の言い方を知り、その文房具の数を数える。 指導者が誌面や身の回りの物について出すヒントを聞き、それが何かを答える。 音声で筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて名前を書く。 デジタル教材を視聴し、世界の子どもたちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。 ペアの一人が文房具カードを誌面に置いて自分の文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。 身近な人のために文房具セットを作り、誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。 <p>Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.</p>	4
	Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の小文字と、その読み方に慣れ親しむ。 身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、身の回りにある看板や標示を見て、アルファベットの小文字を知る。 絵カードや誌面の小文字を見ながら、歌やチャンツを歌ったり言ったりする。 誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して発表する。 誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。 音声を聞き、どの看板や標示かを考えて番号を書く。 五つの標示から一つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の標示を当てる。 10色から好きな色を選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を当てる。 <p>Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have (a 'b')? Yes, I do. / No, I don't. That's right. Sorry. Try again.</p>	4

9月 10月 11月 12月	What do you want? ほしいものは何か?	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、世界の市場の様子を見てそれぞれの国の違いに気付く。 ・リズムよくチャンツを言う。 ・おはじきを置いている絵の語が発音されたら、おはじきを取る。 ・登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き、線で結ぶ。 ・果物カードをやり取りして、カードをパフェ台紙に貼り、パフェを作る。 ・デジタル教材を視聴し、イラストと文字を線で結ぶ。 ・食べ物カードのやり取りをして、ピザを作るための具材を集める。グループで考えたオリジナルピザを紹介する。 <p>What do you want? I want (), please. How many? (), please. Here you are. Thank you.</p>	5
1月 2月 3月	This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方に慣れ親しむ。 ・自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。 ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う教室名を聞き、誌面にある教室を指さす。 ・教室名に慣れ親しんだあと、音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。 ・音声を聞き、登場人物と教室イラストを線で結ぶ。 ・デジタル教材を視聴し、外国と日本の小学校の違いなど、気付いたことを口に記入する。 ・友達にインタビューし、誌面にある教室が好きな友達の名前を口に記入する。 ・校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。 ・デジタル教材を視聴し、道案内の仕方に出会う。 <p>Go straight. Turn [right / left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).</p>	4
	This is my day. ぼく・わたしの一日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しむ。 ・絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。 ・相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短いまとまりのある話を聞いて、おおよその内容をつかむ。 <p>I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00). I go to school. I go home</p>	5

4 総合的な学習の時間指導計画

(1) 総合的な学習の時間の名称 「いきいきタイム」

(2) 総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 学校生活や身近な社会における様々な事柄に触れ、よりよく生活するために必要な知識や技能を身に付ける。
- ② 探究的な学習の中に課題を見つけ、よく考えて課題を解決し、学んだことを表現することができるようにする。
- ③ 探究的な学習において自分や相手を認めながら、主体的に取り組むとともに、積極的に学校生活や身近な社会に参加しようとする態度を養う。

(3) 実施学年・時間数

学年及び課程と児童数、指導者数	時間数	学習活動を行う方法
3年 I 課程 児童1名、指導者1名 4年 I 課程 児童2名、指導者1名 5年 I 課程 児童0名、指導者0名 6年 I 課程 児童5名、指導者3名	70 時間	【授業形態】 個別・学年別・グループ別 【学校外施設の利用】 校外学習見学先

(4) 学習計画

年間指導計画

3年

月	題 材 名	学 習 内 容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月	○パソコンの使い方を知ろう	・パソコンの基本的な使い方を学習する。 ・ローマ字表を見ながら、ローマ字打ちを練習する。 ・インターネットを使う際のルールやマナーを学習する。	18	個別
9月	○社会見学に行こう（事前事後） ○お楽しみ遠足に行こう	・社会見学について期日、日程、見学地などを調べ、しおりにまとめる。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	10 4	グループ グループ
10月 11月 12月	○パソコンで調べてみよう ○ドリフェスに向けて取り組もう	・インターネットを利用して、興味のあることについて調べる。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。	10 18	個別 グループ
1月 2月 3月	○調べたことをまとめてみよう	・自分の興味のあることについて、調べた結果をまとめる。	10	個別

4年

月	題 材 名	学 習 内 容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○キーボードの使い方を覚えよう ○別府の食べ物について調べよう ○社会見学に行こう（事前事後） ○お楽しみ遠足に行こう	・タイピングの練習をしたり、Wordで短い文章を打ったりする。 ・インターネットを利用して、大分県や別府市の郷土料理について調べてまとめる。 ・社会見学について期日、日程、見学地などを調べ、しおりにまとめる。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	8 10 10 4	個別 個別 グループ グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○別府の食べ物を見学して作ってみよう ○ドリフェスに向けて取り組みよう ○十歳を祝う会をしよう	・路線バスなどで現地を見学する。 ・分かったことをもとに、学校で作ってみる。 ・学習したことを1枚の紙にまとめる。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 ・「十歳を祝う会」に向けて、教師と一緒にKeynoteで成長記録を作る。 ・十歳を祝う会の準備や式の実際を通して、自分の成長を振り返り、実感する。	10 18 10	4年 グループ 4年

5年

月	題 材 名	学 習 内 容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○Wordやロイロノート等の使い方を知ろう ○別府の観光について調べよう（例 別府八湯、地獄めぐりなど） ○社会見学に行こう（事前事後） ○お楽しみ遠足に行こう	・作文や学習したことをWordにまとめる。 ・自分の好きなことや学習したことなどを、ロイロノートやKeynoteを使ってまとめてみる。 ・画像の貼り付け方、アニメーションや効果音の付け方を知る。 ・インターネットや旅行雑誌などを使って、全国的に有名な観光資源について調べてまとめる。 ・社会見学の見学地について調べ、しおりにまとめ、質問事項などを考える。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	8 10 10 4	個別 個別 グループ グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○別府の観光地を見学しよう ○ドリフェスに向けて取り組みよう ○別府の観光地について調べたことを発表しよう	・事前に質問を考え、路線バスを使って現地に行き調べたり質問したりする。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 ・調べた内容を基に、ロイロノートやkeynoteでプレゼンを作る。 ・児童集会などで発表する。	10 18 10	5年 グループ 個別

6年

月	題 材 名	学 習 内 容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○将来の自分について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事図鑑やパソコンで仕事の内容について調べ、仕事の内容について知る。 ・中学部や高等部などの実習の発表を聞いたリ、インタビューしたりして将来について考える。 ・調べたことをまとめ、将来の自分について、まとめる。 	10	個別
	○別府の伝統文化について調べよう (例 竹工芸、文化財、地踊り、地域の伝統行事など)	<ul style="list-style-type: none"> ・別府市の伝統文化について、インターネットや書籍などを使って調べる。 	8	個別
	○社会見学に行こう (事前事後)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学の見学地について調べ、しおりにまとめ、質問事項などを考える。 	10	グループ
	○お楽しみ遠足に行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。 	4	グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○修学旅行に行こう (事前事後)	<ul style="list-style-type: none"> ・しおりやプレゼンを見て、行先や行程を知る。 ・しおりに感想をまとめたり動画を編集したりする。 	5	6年
	○別府の伝統文化を見学しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に質問を考え、路線バスを使って現地に行って調べたり質問したりする。 	5	6年
	○ドリフェスに向けて取り組もう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 	18	グループ
	○別府の伝統文化について、調べたことを発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容を基に、keynote や PowerPoint でプレゼンを作る。 ・児童集会などで調べたことを発表する。 	5	個別
	○送る会で発表するプレゼンを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・在校生やお世話になった先生、保護者に見せる小学部生活の歩みを Keynote や PowerPoint で作る。 	5	個別

5 学級活動

学年 月	1 年		2 年		3 年	
	題 材 名	配当時間	題 材 名	配当時間	題 材 名	配当時間
4	新しい学級	3	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2
5	みんなと仲良くなるろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなるろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなるろう 人権・平和学習	1 1
6	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3
7	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1
9	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1
10	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1
11	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1
12	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1
1	新しい学期	2	新しい学期	2	新しい学期	2
2	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1
3	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	思い出の作品を作ろう 一年間を振り返って	2 1
	時間合計	34	時間合計	35	時間合計	35

学年 月	4 年		5 年		6 年	
	題 材 名	配当時間	題 材 名	配当時間	題 材 名	配当時間
4	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2
5	みんなと仲良くなるろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなるろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなるろう 人権・平和学習	1 1
6	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3
7	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1
9	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1
10	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1
11	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1
12	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1
1	新しい学期	2	新しい学期	2	新しい学期	2
2	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	豆まきをしよう 鶴見小へお手紙を書こう 卒業式に向けて	1 1 1
3	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	思い出の作品を作ろう 一年間を振り返って	2 1
	時間合計	35	時間合計	35	時間合計	35

6 クラブ活動

クラブの名称	年間指導計画の概要	年間実施計画	備 考
あそびクラブ (4～6年)	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢集団の活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図ることをねらいとする。 ○集団で楽しめる遊びを選択し、児童の実態に応じて決定する。 	前期(4) 後期(6) 【体育的活動】 おにごっこ・かくれんぼ など 【文化的活動】 アイロンビーズ・すごろく など	活動内容については、児童の実態や体調を考慮し、必要に応じてグループ分けを行い、実施する。 *週あたり 前期 0.25 時間 後期 0.32 時間

7 児童会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
活動内容	1年生を迎える会(1) 集会活動(1) (児童集会)	集会活動(1) (全校集会)	集会活動(1) (児童集会)	七夕集会(1) 集会活動(1) (全校集会)		集会活動(1) (児童集会)	集会活動(1) (全校集会)	集会活動(1) (児童集会)	クリスマス会(1) 集会活動(1) (全校集会)	集会活動(1) (児童集会)	給食感謝の会 (給食時) バス感謝の会 (朝会時) 集会活動(1) (全校集会)	6年生を送る会(1) 集会活動(1) (児童集会)	
配当時間	2	1	1	2	0	1	1	1	2	1	1	2	15

8 学校行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計						
													1年	2年	3年	4年	5年	6年	
儀式的行事	始業式(1) 【2～6年】 入学式(1) 【1・6年】				終業式(1)		始業式(1)			終業式(1)	始業式(1)		卒業式(1) 【5・6年】 修了式(1) 【1～5年】	6	6	6	6	7	7
文化的行事								別支ドリームフェスティバル(6)						6	6	6	6	6	6
健康安全・体育の行事	身体計測(聴力・視力含む)(1) 心臓検診【1年】(1)	内科検診(0.5) 耳鼻科検診(0.5) 眼科検診(0.5)	整形外科検診(0.5) 歯科検診(0.5) 避難訓練(1)			身体測定(0.5)		避難訓練(1)			身体測定(0.5)	避難訓練(1)		8.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
遠足・集団宿泊の行事		なかよし遠足(3)	社会見学【1(3～6年)】(5)			交流及び共同学習(1) 校外学習【I(1～2年)IIIII(1～6年)】(5)	お楽しみ遠足【I II III(1～4年)】(5) 【IV(1～6年)】(3) 修学旅行【I II III(5～6年)】(10) 交流及び共同学習(1)					お別れ遠足【I II III(1～6年)】(3)		I 18 II 18 III 18 IV 8	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 23 II 23 III 23 IV 8	I 23 II 23 III 23 IV 8
勤務生産・奉仕の行事				清掃(1)					清掃(1)				清掃(1) 【1～5年】	3	3	3	3	3	2
時間合計	1年	3	4.5	2	2	0	I II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 41.5 II 41.5 III 41.5 IV 31.5					
	2年	2	4.5	2	2	0	I II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 40.5 II 40.5 III 40.5 IV 30.5					
	3年	2	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 40.5 II 40.5 III 40.5 IV 30.5					
	4年	2	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 40.5 II 40.5 III 40.5 IV 30.5					
	5年	2	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 11 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	3	I 46.5 II 46.5 III 46.5 IV 31.5					
	6年	3	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 11 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	1	I 45.5 II 45.5 III 45.5 IV 30.5					

9 自立活動

(1) 目標

教育活動全体及び時間の指導をとおして、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、心身の調和的発達を培いながら、児童それぞれにとっての自立と社会参加を目指す。

(2) 指導方針

- ①児童の実態を的確に把握し、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付け個別の指導計画を作成して、系統的な指導をできるようにする。その際個々の児童の人間として調和のとれた育成を目指すように努める。
- ②障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行う。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の児童の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うように配慮する。
- ③重複障がい児童のうち、障がいの状態により各教科に替えて、自立活動を主として指導を行う。

(3) 指導計画

- ①個別の指導計画を作成し、指導を行い、評価・改善をする。

ア個別の指導計画の作成における留意点

- ・実態把握は、長所や得意なことを含めて行う。収集した情報は、個人情報の保護に留意する。
- ・指導目標の達成に向けて、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。

イ指導内容の設定における留意点

- ・児童が、主体的に取り組む内容にする。
- ・児童が、学習上又は生活上の困難を改善・克服の意欲を喚起する内容にする。
- ・児童の発達の進んでいる側面を更に伸ばす内容にする。
- ・児童が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような内容にする。
- ・児童が、自己選択や自己決定をすることができるような内容にする。
- ・児童が、自立活動の学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組める内容にする。

ウ評価における留意点

- ・児童の学習状況を学期末に適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に生かすように努める。

②指導時間数

「Ⅲ 小学部 1 形態別授業時数」の頁参照。

③指導形態

- ・指導目標を達成する上で、個別指導又は集団を構成して指導するかは効果的な方を選択する。

(4) 指導上の配慮事項

- ①自立活動の指導は、全教師の協力の下に効果的に行われるようにする。
- ②児童の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして適切な指導ができるようにする。
- ③児童の指導の継続性を確保するため、個別の指導計画を活用したり、教職員間で引継ぎを行ったりする。

10 交流及び共同学習

(1) 学校間での交流及び共同学習

①目的

- ・地域の小学校との交流及び共同学習を通して、児童の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育成する。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月 (予定)	1回あたりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年 等	引率 率 教員数
全	20名	9月	1時間	特別活動	・全体での出会いの会 ・グループに分かれて、自己紹介やゲームを楽しみ、他校の児童との交流を体験する。	別府市立 鶴見小学校	3年	なし (本校 実施)
全	20名	10月	1時間	特別活動	・両校とも、楽しかったことなどの感想を書いて出し合い手紙での交流をする。	別府市立 鶴見小学校	3年	なし (本校 実施)

(2) 居住地校での交流及び共同学習

①目的

- ・居住地域の友だちと知り合い触れあいながら、お互いの存在を認め合い、かかわりを深めることができるようにする。
- ・居住地域の友だちと一緒に学習をすることで多人数での授業を体験し、児童の経験を広め積極的な態度を育てる。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月 (予定)	1回あたりの 実施時間	指導の 形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年 等	引率 率 教員数
3年	単一障がい 学級1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	由布市立 由布川小学校	3年	1名
3年	重複障がい 学級1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	別府市立 朝日小学校	3年	1名
5年	重複障がい 学級1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	由布市立 東庄内小学校	5年	1名
6年	重複障がい 学級1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	別府市立 境川小学校	6年	1名
6年	単一障がい 学級1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	日出町立 藤原小学校	6年	1名

VIII 中 学 部

1 指導の形態別授業時数

- (1) 単一障がい学級 肢体不自由 I 課程
 単一障がい学級 病弱 I 課程
 重複障がい学級 肢体不自由・病弱 I 課程

指導の形態		1年	2年	3年	備考
各教科	国 語	140	140	105	○ 保健体育の時間を減じて、自立活動の時間に充てる。
	社 会	105	105	140	
	数 学	140	105	140	
	理 科	105	140	140	
	音 楽	45	35	35	
	美 術	45	35	35	
	保 健 体 育	70	70	70	
	技 術 ・ 家 庭	70	70	35	
	外 国 語	140	140	140	
特別の教科 道徳		35	35	35	
総合的な学習の時間		50	70	70	
特別活動	学級活動	35	35	35	
自立活動		35	35	35	
総授業時数		1015	1015	1015	
選択教科		—	—	—	

- (2) 重複障がい学級 II 課程

指導の形態		1年	2年	3年	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	35	35	35	○ 日常生活の指導に充てる時間は、次のように計画する。 朝の会 5分×5日 帰りの会 5分×5日
	遊 び の 指 導	-	-	-	
	生 活 単 元 学 習	70	70	70	
	作 業 学 習	35	35	35	
国 語		105	105	105	
社 会		70	70	105	
数 学		105	105	105	
理 科		70	105	105	
音 楽		45	35	35	
美 術		45	35	35	
保 健 体 育		70	70	70	
職 業 ・ 家 庭		70	70	35	
外 国 語		105	105	105	
特別の教科 道徳		35	35	35	
特別活動	学級活動	35	35	35	
自 立 活 動		70	35	35	
総合的な学習の時間		50	70	70	
総 授 業 時 数		1015	1015	1015	

(3) 重複障がい学級 III課程

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備 考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	105	105	105	日常生活の指導に充てる時間は、次のように計画する。
	遊びの指導	—	—	—	
	生活単元学習	105	105	105	
	作業学習	35	35	35	
国語	105	105	105	朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 10分×5日 朝の会 10分×5日 帰りの会 5分×5日 社会、理科、職業・家庭、外国語については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。	
社会	0	0	0		
数学	105	105	105		
理科	0	0	0		
音楽	70	70	70		
美術	70	70	70		
保健体育	70	70	70		
職業・家庭	0	0	0		
外国語	0	0	0		
特別の教科 道徳	35	35	35		
特別活動	35	35	35		
自立活動	210	210	210		
総合的な学習の時間	70	70	70		
総授業時数	1015	1015	1015		

(4) 重複障がい学級 IV課程

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備 考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	210	210	210	日常生活の指導に充てる時間は、次のように計画する。
	遊びの指導	—	—	—	
	生活単元学習	—	—	—	
	作業学習	—	—	—	
国語	0	0	0	朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 15分×5日 朝の会 10分×5日 排泄指導 15分×5日 歯磨き指導 10分×5日 帰りの会 5分×5日 国語、社会、数学、理科、保健体育、職業・家庭、外国語については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。	
社会	0	0	0		
数学	0	0	0		
理科	0	0	0		
音楽	70	70	70		
美術	35	35	35		
保健体育	0	0	0		
職業・家庭	0	0	0		
外国語	0	0	0		
特別の教科 道徳	0	0	0		
特別活動	35	35	35		
自立活動	595	595	595		
総合的な学習の時間	70	70	70		
総授業時数	1015	1015	1015		

2 道徳科指導計画

	1 年			2 年			3 年		
	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間
4月	サッカーの漫画を描きたい	希望、勇気、克己A(4)	1	自分の弱さと戦え	よりよく生きるD(22)	1	風に立つライオン	よりよく生きるD(22)	1
	挫折から希望へ	よりよく生きるD(22)	1	おばあちゃんのくれた“おまじない”	勤労C(13)	1	銅メダルから得たもの	希望、勇気、克己A(4)	1
	人のフリみて	思いやり、感謝B(6)	1	挨拶は言葉のスキンシップ	礼儀B(7)	1	出迎え三歩、見送り七歩	礼儀B(7)	1
5月	「愛情貯金」をはじめませんか	礼儀B(7)	1	最後のパートナー	生命の尊さD(19)	1	昔と今を結ぶ糸	伝統と文化C(17)	1
	さかなのなみだ	公正、公平C(11)	1	五月の風ーカナー	自主、自律A(1)	1	卒業文集最後の二行	公正、公平C(11)	1
	近くにいた友	友情、信頼B(8)	1	五月の風ーミカー	友情、信頼B(8)	1	違うんだよ、健司	友情、信頼B(8)	1
6月	トマトとメロン	向上心、個性A(3)	1	リスペクト アザース	公正、公平C(11)	1	命のトランジットピザ	国際理解、貢献C(18)	1
	ばあば	生命の尊さD(19)	1	名乗り出なかつた友	思いやり、感謝B(6)	1	エリカ-奇跡のいのち-	生命の尊さD(19)	1
	ふれあい直売所	遵法精神、公德心C(10)	1	戦争を取材する	真理の探究、創造A(5)	1	私も高校生	自主、自律A(1)	1
	あったほうがいい？	社会参画、公共の精神C(12)	1	海と空ー檉野の人々ー	国際理解、貢献C(18)	1	あるレジ打ちの女性	勤労C(13)	1
7月	疾走、自転車ライダー	節度、節制A(2)	1	美しい鳥取砂丘	遵法精神、公德心C(10)	1	No Charity, but a Chance!	社会参画、公共の精神C(12)	1
	花火に込めた平和への願い	国際理解、貢献C(18)	1	和樹の夏祭り	郷土の伝統C(16)	1	新しい夏のはじまり	向上心、個性A(3)	1
9月	部活の帰り	友情、信頼B(8)	1	ハイタッチがくれたもの	よりよい学校生活C(15)	1	「稲むらの火」余話	郷土の伝統C(16)	1
	私らしさって？	自主、自律A(1)	1	ヨシト	公正、公平C(11)	1	言葉の向こうに	相互理解、寛容B(9)	1
	むかで競走	よりよい学校生活C(15)	1	ネット将棋	自主、自律A(1)	1	命の大切さ	公正、公平C(11)	1
	観望を乗り越えて-成務した郡上忍部-	郷土の伝統C(16)	1	樹齢七千年の杉	感動、畏敬の念D(21)	1	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	友情、信頼B(8)	1
10月	使っても大丈夫？	遵法精神、公德心C(10)	1	「自分」ってなんだろう	向上心、個性A(3)	1	二通の手紙	遵法精神、公德心C(10)	1
	公平と不公平	公正、公平C(11)	1	小さな工場の大きな仕事	勤労C(13)	1	独りを慎む	節度、節制A(2)	1
	違いを乗り越えて	国際理解、貢献C(18)	1	体験ナースをとおして	生命の尊さD(19)	1	電車の中で	思いやり、感謝B(6)	1
	あふれる愛	生命の尊さD(19)	1	行動する建築家 坂 茂	社会参画、公共の精神C(12)	1	自分・相手・周りの人	社会参画、公共の精神C(12)	1
11月	富士山から愛えていく	社会参画、公共の精神C(12)	1	さよなら、ホストファミリー	伝統と文化C(17)	1	失った笑顔を取り戻す	勤労C(13)	1
	木の声を聞く	自然愛護D(20)	1	夜のくだもの屋	思いやり、感謝B(6)	1	「川端」のある暮らし	自然愛護D(20)	1
	バスと赤ちゃん	思いやり、感謝B(6)	1	初心	希望、勇気、克己A(4)	1	風景開眼	感動、畏敬の念D(21)	1
	家族と支え合うなかで	家族愛C(14)	1	ライバル	友情、信頼B(8)	1	臓器ドナー	生命の尊さD(19)	1
12月	私は清掃のプロになる	勤労C(13)	1	オーストリアのマス川	遵法精神、公德心C(10)	1	iPS細胞で難病を治したい	真理の探究、創造A(5)	1
	奈良筆に生きる	伝統と文化C(17)	1	よみがえれ、えりもの森	自然愛護D(20)	1	父は能楽師	伝統と文化C(17)	1
1月	ゆうへ-生きていてくれてありがとう-	生命の尊さD(19)	1	ダショー・ニシオカ	国際理解、貢献C(18)	1	本とペンで世界を変えよう	国際理解、貢献C(18)	1
	旗	友情、信頼B(8)	1	コトコの涙	相互理解、寛容B(9)	1	塩むすび	思いやり、感謝B(6)	1
	自分だけ「余り」になっちゃう……	相互理解、寛容B(9)	1	門掃き	社会参画、公共の精神C(12)	1	町内会デビュー	自主、自律A(1)	1
2月	オーロラ-光のカーテン-	感動、畏敬の念D(21)	1	避難所にて	節度、節制A(2)	1	一冊のノート	家族愛C(14)	1
	裏庭のでできごと	自主、自律A(1)	1	命を見つめて-旅談 岡さんの六百四十六日-	生命の尊さD(19)	1	サトシの一票	社会参画、公共の精神C(12)	1
	役に立つことができるかな	勤労C(13)	1	足袋の季節	よりよく生きるD(22)	1	ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	遵法精神、公德心C(10)	1
	緑のじゅうたん	真理の探究、創造A(5)	1	恋する涙	友情、信頼B(8)	1	世界を動かした美	よりよく生きるD(22)	1
3月	「肝心」のバスガイド	郷土の伝統C(16)	1	包む	伝統と文化C(17)	1	お別れ会	よりよい学校生活C(15)	1
	いつものバイオリン	よりよく生きるD(22)	1	きいちゃん	家族愛C(14)	1	希望	生命の尊さD(19)	1
	時間合計		35	時間合計		35	時間合計		35

3 総合的な学習の時間

【I 課程】

(1) 総合的な学習の時間の名称 「共に学び共に生きる」

(2) 総合的な学習の時間の目標

- ・社会生活に対して視野を広げ、よりよく生活するための必要な知識や技能を身に付ける。
- ・探究的な学習の中に課題を見つけ、集めた情報を整理・分析して、学んだことをまとめて表現することができるようになる。
- ・探究的な学習において互いの良さを認め合い、協調しながら主体的に取り組むとともに、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

学年及び生徒数、指導者数	単位数（時間数）	学習活動を行う方法
第1学年 生徒数1名指導者数1名 第2学年 生徒数0名指導者数0名 第3学年 生徒数4名指導者数3名	第1学年（50時間） 第2・3学年（70時間）	【授業形態】 学部・学年別・クラス・個別 【学校外施設の利用】 校外学習・職場体験など

※事前・事後学習は「総合的な学習の時間」に行い、当日は「特別活動」で行う。

(4) 学習計画

月	題 材 名	学 習 内 容	時 数		
			1年	2年	3年
4	新入生をむかえよう	○活動を理解し、積極的に参加する。また、参加者のみんなで楽しむための工夫をする。	2	4	4
5	将来と職業に関する学習をしよう（5月～7月）	○時間いっぱい作業に取り組む。	4	6	6
	ドリームスポーツ杯のお知らせ	○ポスター作成と保護者あてのプログラムを作成する。	2	2	2
	防災について考えよう	○避難体験などを通して、災害時に取るべき行動や、準備しておくこと等を考え、防災について知識を深める。	1	1	1
6	将来について考えよう	○1年ライフキャリアについて 2年希望する職業について 3年進学に必要な力について	1	3	3
	【2・3年】 校外学習（マナー学習）（事前・事後）	○公共の場所を利用する際のマナーやルールについて学習し、実際に体験する中で、知識を深める。		4	4
7	お楽しみ会の準備と振り返り	○みんなが楽しむことができるように考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行いポスターにまとめる。	4	4	4

9	将来と職業に関する学習をしよう (9月～12月)	○時間いっぱい作業に取り組む。	4	6	6
	働くことについて考えよう	○興味のある職業について調べたり、将来について考えたりする。(1年) ○希望の職業について調べたり、将来について考えたりする。(2年) ○3年職場体験実習について調べたり、将来について考えたりする。(3年)	2	5	2
10	【1年】校外学習に行こう(事前)(事後)	○行き先を知り、見学先について調べ、めあてを立てたり、計画を立てたりして、見通しを持つ。 ○事後のまとめをし、発表する。	5		
	別支ドリームフェスティバルの準備をしよう	○保護者へのプレゼントを制作する。 ○自分の役割や活動を理解し積極的に参加する。また、参加者のみんなで楽しむための工夫をする。	8	8	8
11	【2・3年】職場見学、職場体験実習に行こう(事前)(事後)	○職場見学、職場体験実習に向けて、実習先や日程を知り、調べ学習をしたり、めあてを決めたりして、意欲を持つ。 ○事後のまとめをし、発表する。		6	6
12	防災について考えよう	○地震時の避難について、調べ学習を通して気を付けることを知り、避難訓練に生かす。	1	1	1
	お楽しみ会の準備と振り返り	○学部みんなが楽しむことができる活動を考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行い、ポスターにまとめる。	3	3	3
1	将来と職業に関する学習をしよう (1月～3月)	○時間いっぱい作業に取り組む。	4	6	4
	防災について考えよう	○火砕流について調べ、避難時に気を付けることを考え、避難訓練に生かす。	1	1	1
	郷土について知ろう	○1年 別府の伝統文化や食文化などについて調べて、発表しあう。 ○2年 大分の伝統文化や食文化などについて調べて、発表しあう。 ○3年 大分の産業について調べて、発表しあう。	3	3	3
2	3年生を送る会の準備をしよう	○1・2年生は分担した役割を果たし、3年生へのメッセージを考える。 ○3年生として、学部の友達や先生に感謝を伝える。	3	3	3

3	【1・2年】将来について考えよう 【3年】卒業にむけて	○高等部の先輩や先生に話を聞き高等部の就職や進学への考え方を知る。 ○卒業に向けて、3年生として何をすべきかを考え、計画し、準備する。(卒業制作・式練習)	1	1	8
	1年間の振り返りをしよう	○これまでの学習について振り返り、自分の考えたことや感じたことをまとめ、発表する。	1	3	1

【Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ課程】

(1) 総合的な学習の時間の名称 「ふれあい学習」

(2) 総合的な学習の時間の目標

- ・社会生活に対して視野を広げ、よりよく生活するための必要な知識や技能を身に付ける。
- ・探究的な学習の中に課題を見つけ、集めた情報を整理・分析して、学んだことをまとめて表現することができるようになる。
- ・探究的な学習において互いの良さを認め合い、協調しながら主体的に取り組むとともに、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、諸課題に対応した解決方法を見出し、探究的な学習のよさを理解するようになる。
- ②自分の身近な生活や社会の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ③探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを認め合い、積極的に集団や社会に参加しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

学年及び生徒数、指導者数	単位数（時間数）	学習活動を行う方法
第1学年ⅡⅢⅣ課程生徒8名 指導者数8名	第1学年（50時間） 第2・3学年（70時間）	【授業形態】 学部・学年別・クラス・個別 【学校外施設の利用】 校外学習・職場体験など
第2学年ⅡⅢⅣ課程生徒2名 指導者数2名		
第3学年ⅡⅢⅣ課程生徒3名 指導者数3名		

※事前・事後学習は「総合的な学習の時間」に行い、当日は「特別活動」で行う。

(4) 学習計画

月	題 材 名	学 習 内 容	時 数			
			1年 Ⅱ	1年 ⅢⅣ	2・3年 Ⅱ	2・3年 ⅢⅣ
	ALTと学習しよう (4月～7月)	○ALTとの学習をとおして外国の言葉や歌と親しみ、体験を広げる。		4		4
4	新入生を迎えよう	○活動を理解し、積極的に参加する。また、参加者のみんなで楽しむための工夫をする。	2	2	2	2
5	ドリームスポーツ杯のお知らせ	○ポスター作成と保護者あてのプログラムを作成する。	2	4	8	4
6	防災について考えよう	○避難体験などを通して、災害時に取るべき行動や、準備しておくこと等を考え、防災について知識を深める。 ○避難体験などを通して、災害時に適切な行動をしたり、非常食を食べたりして、災害時に備える。	2	2	2	2
7	自分の将来について考えよう	○いろいろな仕事を調べたり、経験したりして自分の興味のある仕事を見つける。	6	6	8	6
	【2・3年Ⅱ課程】校外に いこう(事前事後)	○公共の場所を利用する際のマナーやルールについて学習し、実際に体験する中で、知識や経験を深める。			10	
	楽しみ会の準備と振り返り	○みんなが楽しむことができるように考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行い、ポスターにまとめる。	4	4	8	4
	ALTと学習しよう (9月～12月)	○ALTとの学習をとおして外国の言葉や歌と親しみ、体験を広げる。		4		4
9	【1・2・3年ⅢⅣ課程】校 外学習に行こう (事前事後)	○行き先を知り、見学先について調べ、めあてを立てたり計画を立てたりして、見通しをもつ。 ○事後のまとめをし、発表する。		9		9
10	【1年Ⅱ課程】校外に いこう(事前事後)	○公共の場所を利用する際のマナーやルールについて学習し、実際に体験する中で、知識や経験を深める。	9			
	別支ドリームフェスティ バルの準備をしよう	○保護者へのプレゼントを制作する。 ○自分の役割や活動を理解し、積極的に参加する。	9	6	10	6
11	【1年】進路について考 えよう	○希望の職業について調べたり、将来について考えたりする。	6	4		
	【2・3年】職場見学、職 場体験実習に行こう (事前事後)	○施設見学、職場体験実習に向けて、実習先や日程を知り、調べ学習をしたり、めあてを決めたりして、意欲をもつ。			6	6
	散策しよう	○学校の周辺を散策、地域を知り、自然を感じる。		2		1

12	防災について考えよう	○地震時の避難について、調べ学習を通して気を付けることを知り、避難訓練に生かす。	1	1	2	1
	お楽しみ会の準備と振り返り	○事後のまとめをし、発表する。 みんなが楽しむことができるように考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行い、ポスターにまとめる。	4	4	6	4
	ALTと学習しよう (1月～3月)	○ALTとの学習をとおして外国の言葉や歌と親しみ、体験を広げる。		3		3
1	防災について考えよう	○火砕流について調べ、避難時に気を付けることを考え、避難訓練に生かす。	1	1	2	1
	商品を作って渡そう	○先生たちから注文を受け、商品を作成し、手渡しすることを通じて人と関わる。		6		5
2	頼まれた物を買ってこよう	○お店の利用を知り、頼まれた物を買ってきて渡す。		4		4
3	3年生を送る会の準備	○【1・2年】分担した役割を果たし、3年生へのメッセージを考える。 ○【3年】学部の友だちや先生に感謝を伝える。	4	4	6	4

4 学級活動

	1 年		2 年		3 年	
	題 材 名	配当時間	題 材 名	配当時間	題 材 名	配当時間
4月	中学校生活について知ろう	1	2年生の役割を考えよう	1	最上級生の自覚と役割	1
	学級と個人目標・組織づくり	1	学級と個人目標・組織づくり	1	学級と個人目標・組織づくり	1
	学級目標を考えよう	1	学級目標を考えよう	1	学級目標を考えよう	1
5月	自分のよさを知ろう（人権）	1	自分のよさを知ろう（人権）	1	自分のよさを知ろう（人権）	1
	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1
	仲間づくりについて（人権）	1	仲間づくりについて（人権）	1	仲間づくりについて（人権）	1
6月	私たちの住む環境	1	私たちの住む環境	1	私たちの住む環境	1
	心身の発達と変化	1	自分の性格や個性・能力の理解	1	高等部の先輩から学ぶ	1
	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1
	学習のまとめ（期末考査）	1	学習のまとめ（期末考査）	1	学習のまとめ（期末考査）	1
7月	平和について考えよう（平和）	1	平和について考えよう（平和）	1	平和について考えよう（平和）	1
	1学期の反省	1	1学期の反省	1	1学期の反省	1
	夏休みの過ごし方と計画	1	夏休みの過ごし方と計画	1	夏休みの過ごし方と計画	1
	望ましい生活習慣	1	生活習慣と食生活	1	将来の生活を考える	1
9月	夏休みの反省と2学期の目標	1	夏休みの反省と2学期の目標	1	夏休みの反省と2学期の目標	1
	心の通い合う学級	1	学級生活を充実させよう	1	学習方法を改善しよう	1
	生徒会とわたしたち	1	生徒会活動と学級	1	悩みや不安の解消	1
10月	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1
	別支ドリームフェスティバルの目標	1	別支ドリームフェスティバルの目標	1	別支ドリームフェスティバルの目標	1
	コミュニケーションを豊かに	1	心に残る学校行事	1	思い出に残る行事にしよう	1
11月	別支ドリームフェスティバルの振り返り	1	別支ドリームフェスティバルの振り返り	1	別支ドリームフェスティバルの振り返り	1
	差別のない社会にむけて（人権）	1	差別のない社会にむけて（人権）	1	差別のない社会にむけて（人権）	1
	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1
	学習のまとめ（期末考査）	1	学習のまとめ（期末考査）	1	学習のまとめ（期末考査）	1
12月	2学期の反省	1	2学期の反省	1	2学期の反省	1
	冬休みの過ごし方と計画	1	冬休みの過ごし方と計画	1	冬休みの過ごし方と計画	1
	大掃除をしよう	1	大掃除をしよう	1	大掃除をしよう	1
1月	冬休みの反省と3学期の目標	1	冬休みの反省と3学期の目標	1	冬休みの反省と3学期の目標	1
	なぜ学ぶのか	1	何のために学ぶのか	1	受験への心構えと準備	1
2月	世界の平和について（平和）	1	世界の平和について（平和）	1	世界の平和について（平和）	1
	学習のまとめ（期末考査）	1	学習のまとめ（期末考査）	1	学習のまとめ（期末考査）	1
	学級と私たちの成長	1	家庭学習の改善と充実	1	面接の練習をしよう	1
3月	1年間を振り返って	1	1年間を振り返って	1	3年間を振り返って	2
	春休みに向けて	1	春休みに向けて	1		
	大掃除をしよう	1	大掃除をしよう	1	受験に向けて	1
	時間合計	35	時間合計	35	時間合計	35

5 生徒会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計	
活動内容	新入生を むかえる 会 (2) 集会行事 (2)	集会行事 (2)	集会行事 (1)	お楽しみ 会 (2) 集会行事 (2)		生 徒 会 役員選出 (1) 集会行事 (2)	集会行事 (2)	集会行事 (1)	お楽しみ 会 (2) 集会行事 (2)	集会行事 (2)	給食感謝 の会 (給食時) バス感謝 の会 (朝会時) 3年生を 送る会 (2) 集会行事 (2)	生 徒 会 役員選出 (1) 集会行事 (1)		
配当時間	4	2	1	4	0	3	2	1	4	2	4	2	29	

6 学校行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計			
													1年	2年	3年	
儀式的行事	始業式(1) 【2・3年】 入学式(1) 【1・3年】			終業式(1)		始業式(1)			終業式(1)	始業式(1)		卒業式(2) 【2・3年】 修了式(1) 【1・2年】	6	7	7	
文化的行事								別支ドリーム フェスティバル (6)					6	6	6	
健康安全・ 体育的行事	身体測定 (1) 心臓検診 (1)【1年】	ドリー.ms スポーツ杯 (4) 内科検診 (1) 耳鼻科検診 (1) 眼科検診 (1)	整形外科検 診(1) 歯科検診 (1) 避難訓練 (1)			身体測定 (1)		避難訓練 (1)		身体測定 (1)	避難訓練 (1)		16	15	15	
旅行・集団 宿泊の行事			3年校外学 習(ⅠⅡ) (5) 交流及び共 同学習 (2)			1・2・3年校 外学習(Ⅲ) (5) 1・3年校外 学習(Ⅳ) (5)	1年校外学 習(ⅠⅡ) (5)	交流及び共 同学習(2)					ⅠⅡ 9	/	ⅠⅡ 9	
													ⅢⅣ 9	Ⅲ 9	ⅢⅣ 9	
勤労生産・ 奉仕的行事								職場体験 Ⅲ(2年8) ⅠⅡⅢ (3年12) Ⅳ(3年4)					ⅠⅡ 0 ⅢⅣ 0	Ⅲ 8	ⅠⅡⅢ 12 Ⅳ 4	
時間 合計	1年	3	7	ⅠⅡ 5 ⅢⅣ 5	1		ⅠⅡ 2 ⅢⅣ 7	ⅠⅡ 5 ⅢⅣ 0	ⅠⅡ 9 ⅢⅣ 9	1	2	1	2	ⅠⅡ 37 ⅢⅣ 37	/	/
	2年	2	7	Ⅲ 5	1		Ⅲ 7	Ⅲ 0	Ⅲ 17	1	2	1	2	/	Ⅲ 45	/
	3年	3	7	ⅠⅡ 10 ⅢⅣ 5	1		ⅠⅡ 2 ⅢⅣ 7	ⅠⅡ 0 ⅢⅣ 0	ⅠⅡⅢ 21 Ⅳ 13	1	2	1	1	/	/	ⅠⅡⅢ 49 Ⅳ 41

7 自立活動

(1) 目標

教育活動全体及び時間の指導をとおして、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、心身の調和的発達を培いながら、生徒それぞれにとっての自立と社会参加を目指す。

(2) 指導方針

- ①生徒の実態を的確に把握し、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付け個別の指導計画を作成して、系統的な指導をできるようにする。その際、個々の生徒の人間として調和のとれた育成を目指すように努める。
- ②障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行う。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うように配慮する。
- ③重複障がい生徒のうち、障がいの状態により各教科に替えて、自立活動を主として指導を行う。

(3) 指導計画

- ①個別の指導計画を作成し、指導を行い、評価・改善をする。

ア個別の指導計画の作成における留意点

- ・実態把握は、長所や得意なことを含めて行う。収集した情報は、個人情報保護に留意する。
- ・指導目標の達成に向けて、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。

イ指導内容の設定における留意点

- ・生徒が、主体的に取り組む内容にする。
- ・生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服の意欲を喚起する内容にする。
- ・生徒の発達の進んでいる側面を更に伸ばす内容にする。
- ・生徒が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような内容にする。
- ・生徒が、自己選択や自己決定をすることができるような内容にする。
- ・生徒が、自立活動の学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組める内容にする。

ウ評価における留意点

- ・生徒の学習状況を学期末に適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に生かすように努める。

- ②指導時間数

「IV 中学部 I 形態別授業時数」の頁参照。

- ③指導形態

- ・指導目標を達成する上で、個別指導又は集団を構成して指導するかは効果的な方を選択する。

(4) 指導上の配慮事項

- ①自立活動の指導は、全教師の協力の下に効果的に行われるようにする。
- ②生徒の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして適切な指導ができるようにする。
- ③生徒の指導の継続性を確保するため、個別の指導計画を活用したり、教職員間で引継ぎを行ったりする。

8 産業現場等における実習

(1) 目的

- ・一般事業所や福祉就労施設等での仕事や生活の体験等を通して、将来の進路や社会生活に関心をもつ。

【各学年のねらい】

1年生：中学部生活のリズムに慣れるとともに、校内作業等の学習を通して「働くこと」への基礎を学ぶ。

2年生：事業所や施設の見学を通して、いろいろな仕事があることを知り、将来の進路や社会生活について関心をもつ。

3年生：事業所や施設での実習を通して、「働くことの楽しさ」を味わい、将来の進路や社会生活に関心をもつ。

「働くために必要なこと」を学び、これからの学校生活にいかそうとする気持ちをもつ。

(2) 実施計画

① I・II・III課程

学年	指導の形態名	履修時間(週)	内 容	実習 期日	実 習 時間数	実習場所又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
2	総合的な学習の時間 特 別 活 動	6 12	職場見学	10月 ～ 11月	8時間～	県内一般企業 県内社会福祉施設	2	2	
3	総合的な学習の時間 特 別 活 動	6 8	職場体験	10月 ～ 11月	12時間～	県内一般企業 県内社会福祉施設	6	4	

② IV課程

学年	指導の形態名	履修時間(週)	内 容	実習 期日	実 習 時間数	実習場所又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
2	総合的な学習の時間 特 別 活 動	6 4	施設見学	10月 ～ 11月	4時間～	県内社会福祉施設	0	0	
3	総合的な学習の時間 特 別 活 動	6 4	職場体験 または施設 見学	10月 ～ 11月	4時間～	県内社会福祉施設	1	1	

※生徒の進路希望、特性等を考慮の上、計画し実施する。また、実態に応じて、上記期間外にも適宜、産業現場等における実習を実施する。

※事前・事後の学習は、「総合的な学習の時間(事前4・事後2)」、職場体験実習は「特別活動」で取り扱う。

9 交流及び共同学習

(1) 学校間交流

①目的

- ・地域の中学校との交流及び共同学習や体験活動を通して、生徒の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育成する。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
全	単一障がい 学級5名 重複障がい 学級13名	6月	2時間	学級活動 学校行事	・自己紹介やゲームを通して他校の生徒との人間関係を育成する。	別府支援学校 鶴見校	全	16名
全	単一障がい 学級5名 重複障がい 学級13名	11月	2時間	学級活動 学校行事	・自己紹介やゲームを通して賑やかな雰囲気を楽しんだり、会話したりすることで交流及び共同学習を行う。	別府市立 青山中学校	未定	なし (本校 実施)

(2) 居住地校交流

①目的

- ・居住地の友だちと知り合い触れあいながら、お互いの存在を認め合い、かかわりを深めることができるようにする。
- ・居住地の友だちと一緒に学習し、体験することで、生徒の経験を広め、積極的な態度を育てる。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
1年 (Ⅱ課程)	1名	10月	4時間	特別活動	・授業や行事に参加し、生徒の話を聞いたり、活動を体験したりする。 ・休憩時間を通して、同学年の生徒と会話して交流する。	由布市立 湯布院中学校	1年	1名

IX 高等部

1 教育課程

(1) 令和6年度入学生

学科名 普通科 I 課程

教科		科目	標準 単位	1年	2年	3年	計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 教 科	国語	現代の国語	2			2	6	・○印より、 2単位（1科目）を選択する
		言語文化	2	2	2			
	地理歴史	地理総合	2		2		4	
		歴史総合	2			2		
	公民	公民	2	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		6	
		数学A	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2	2		6	
		生物基礎	2			2		
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	9	
		保健	2	1	1			
	芸 術	音楽Ⅰ	2	2			2～6	
		音楽Ⅱ	2			②		
美術Ⅰ		2		2				
美術Ⅱ		2			②			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2	2	6		
家庭情報	家庭基礎	2	2			2		
	情報	情報Ⅰ	2	2		2		
各学科に共通する科目小計				45～49				
主として 専門にお いて開 講される 教科	産業社会と人間	産業社会と人間	8		4	4	8	0～4
	商業	情報処理	2～4			②		
	家庭	ファッション造形基礎	2～6			②		
専 門 科 目 小 計				0	4～6	4～6	8～12	
計				57				
総合的な探究の時間				2	2	2	6	
自立活動				8	8	8	24	
単位数総計				29	29	29	87	
ホームルーム活動				1	1	1	3	

(2) 令和5年度入学生

学科名 普通科 I 課程

教科		科目	標準 単位	1年	2年	3年	計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 教 科	国語	現代の国語	2			2	6	・芸術のⅡは、 2年次までに Ⅰを履修した 科目のみ選択 可能 ・○印より、 2単位（1科 目）を選択す る
		言語文化	2	2	2			
	地理歴史	地理総合	2		2		4	
		歴史総合	2			2		
	公民	公共	2	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		6	
		数学A	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2	2		6	
		生物基礎	2			2		
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	9	
		保健	2	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2	┌ 2	②		2～6	
音楽Ⅱ		2			②			
美術Ⅰ		2	└ 2	②				
美術Ⅱ		2			②			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2	2	6		
家庭情報	家庭基礎	2	2			2		
家庭情報	情報Ⅰ	2	2			2		
各学科に共通する科目小計				45～49				
主として 専門にお いて開 設する 教科	産業社会と人間	産業社会と人間	8		4	4	8	0～4
	商業	情報処理	2～4		②	②	0～4	
	家庭	ファッション造形基礎	2～6			②		
専門科目小計				0	4～6	4～6	8～12	
計				57				
総合的な探究の時間				2	2	2	6	
自立活動				8	8	8	24	
単位数総計				29	29	29	87	
ホームルーム活動				1	1	1	3	

(3) 令和4年度入学生

学科名 普通科 I 課程

教科		科目	標準 単位	1年	2年	3年	計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 教 科	国語	現代の国語	2			2	6	・芸術のⅡは、 2年次までに Ⅰを履修した 科目のみ選択 可能 ・○印より2 単位(1科目) を選択する
		言語文化	2	2	2			
	地理歴史	地理総合	2		2		4	
		歴史総合	2			2		
	公民	公共	2	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		6	
		数学A	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2		2	6	
		生物基礎	2		2			
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	9	
		保健	2	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2	┌ 2	②		2～6	
音楽Ⅱ		2			②			
美術Ⅰ		2	└ 2	②				
美術Ⅱ		2			②			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2	2	6		
家庭情報	家庭基礎	2	2			2		
家庭情報	情報Ⅰ	2	2			2		
各学科に共通する科目小計				45～49				
主として 専門にお いて開 設する 教科	産業社会と人間	産業社会と人間	8		4	4	8	0～4
	商業	情報処理	2～4		②	②		
	家庭	ファッション造形基礎	2～6			②		
専門科目小計				0	4～6	4～6	8～12	
計				57				
総合的な探究の時間				2	2	2	6	
自立活動				8	8	8	24	
単位数総計				29	29	29	87	
ホームルーム活動				1	1	1	3	

(4) 令和6年度

学科名 普通科

重複障がい学級 II課程

指導の形態		1年	2年	3年	計	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	70	70	70	210	・「日常生活の指導」の指導に充てる時間は、次のように計画する。
	生活単元学習	70	70	70	210	
	作業学習	210	210	210	630	
国語	70	70	70	210	朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 5分×5日 朝の会 5分×5日 帰りの会 5分×5日	
社会	0	0	0	0	・社会、理科、職業については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。	
数学	70	70	70	210		
理科	0	0	0	0		
音楽	70	70	70	210	・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。	
美術	70	70	70	210		
保健体育	70	70	70	210		
職業	0	0	0	0	・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。	
家庭	70	70	70	210		
特別の教科道徳	0	0	0	0		
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	105	
自立活動		210	210	210	630	
総合的な探究の時間		70	70	70	210	
総授業時数		1085	1085	1085	3255	

(5) 令和6年度

学科名 普通科

重複障がい学級 III課程

指導の形態		1年	2年	3年	計	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	70	70	70	210	・「日常生活の指導」の指導に充てる時間は、次のように計画する。
	生活単元学習	70	70	70	210	
	作業学習	70	70	70	210	
国語	70	70	70	210	朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 5分×5日 朝の会 5分×5日 帰りの会 5分×5日	
社会	0	0	0	0	・社会、理科、職業、家庭については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。	
数学	70	70	70	210		
理科	0	0	0	0		
音楽	70	70	70	210	・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。	
美術	70	70	70	210		
保健体育	70	70	70	210		
職業	0	0	0	0	・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。	
家庭	0	0	0	0		
特別の教科道徳	0	0	0	0		
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	105	
自立活動		420	420	420	1260	
総合的な探究の時間		70	70	70	210	
総授業時数		1085	1085	1085	3255	

(6) 令和6年度

学科名 普通科

重複障がい学級 IV課程

指導の形態		1年	2年	3年	計	備考
各教科等 を 合 わ せ た 指 導	日常生活の指導	245	245	245	735	・「日常生活の指導」の指導に充てる時間は、次のように計画する。
	生活単元学習	-	-	-	-	
	作業学習	-	-	-	-	
国	語	0	0	0	0	朝の健康観察 10分×5日 係の仕事 10分×5日 朝の会 15分×5日 排泄指導 15分×5日 歯磨き指導 10分×5日 帰りの会 10分×5日 ・国語、社会、数学、理科、保健体育、職業、家庭については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。 ・特別の教科道德の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱うとともに、教育活動全体を通して行う。
社	会	0	0	0	0	
数	学	0	0	0	0	
理	科	0	0	0	0	
音	楽	105	105	105	315	
美	術	70	70	70	210	
保	健	0	0	0	0	
職	業	0	0	0	0	
家	庭	0	0	0	0	
特別の教科	道徳	0	0	0	0	
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	105	
自	立	560	560	560	1680	
総	合	70	70	70	210	
総	授	1085	1085	1085	3255	

2 総合的な探究の時間

(1) 総合的な探究の時間の名称 「共に学び、共にくらす」

(2) 総合的な探究の時間の目標

【I 課程】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行いながら、自己の在り方生き方を見つめ、自己に関わる課題を解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 社会生活、職業生活に対して視野を広げ、よりよく生活するために必要な知識や技能を身に付ける。
- ② 自己を見つめなおし、自己と社会生活、職業生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、解決を図っていくことができるようにする。
- ③ 自己及び他者の理解を勧め、協調して取り組むとともに、積極的に社会生活、職業生活に参加する態度を養う。

【II・III・IV課程】

- ① 社会生活、職業生活に対して視野や経験を広げ、よりよく生活するために必要な知識や技能、態度を身に付ける。
- ② 探究的な学習の中に課題を見つけ、よく考えて課題を解決し、学んだことを表現することができるようになる。
- ③ 自己及び他者の理解を勧め、協調して取り組むとともに、積極的に社会生活、職業生活に参加する態度を養う。

(3) 実施学年

【I 課程】

学年及び生徒数、指導者数	単位数（時間数）	学習活動を行う方法
1年 生徒 2名 指導者 2名 2年 生徒 4名 指導者 3名 3年 生徒 3名 指導者 2名	2単位 (70時間)	【授業形態】 学部・学年・クラス・課程 【学校外の施設利用】 基本は学校内で実施するが、学習の目標を踏まえ、必要に応じて設定する

【II・III・IV課程】

学年及び生徒数、指導者数	年間授業時数	学習活動を行う方法
1年 II課程 生徒 0名 指導者 0名 III課程 生徒 1名 指導者 1名 IV課程 生徒 2名 指導者 2名 2年 II課程 生徒 1名 指導者 1名 III課程 生徒 2名 指導者 2名 IV課程 生徒 0名 指導者 0名 3年 II課程 生徒 0名 指導者 0名 III課程 生徒 2名 指導者 2名 IV課程 生徒 3名 指導者 3名	70時間	【授業形態】 学部・学年・クラス・課程 【学校外の施設利用】 基本は学校内で実施するが、学習の目標を踏まえ、必要に応じて設定する

(4) 学習計画

①学習内容

課題探究活動	<p>【Ⅱ・Ⅲ課程合同】【Ⅳ課程合同】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心のある活動に進んで取り組む。 ・活動する中で課題を見つけ、調べ、発表する。 ・好きな活動への意欲をその他の学習活動へつなげる。 <p>【Ⅰ課程合同】</p> <p>〈パソコン探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを扱う中で、インターネット情報から正しいものを得るための方法を知る。 <p>〈スポーツ探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツや筋力トレーニングの実践を通して、文献あるいは動画情報から効果的な練習方法を知る。 <p>〈生活自立探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業生活を見据え、経済活動や環境問題などに興味を持つとともに必要な知識を知る。 <p>〈作業探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業活動を通して、作業に継続して取り組む力を身に付けるとともに部品取りや進捗把握などの製品管理に関する知識を知る。
進路に関する学習	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習に向けて事前学習や激励会等を通して、実習への意欲や実習での目標をもつ。 ・現場実習後の学習や報告会等を通して、現在の生活や学習についての課題を知る。 ・障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムの体験を通して卒業後の生活を見据えた活動をする。(Ⅳ課程)
体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に関わる活動、ものづくりや生産活動、文化や芸術に関わる活動等について調べる。 ・活動する意味を理解したり今後の行動を選択したりして自分の考えを表現する。
学部交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ・同年齢あるいは異年齢の集団との活動に参加する。 ・共に活動する喜びや何かを成し遂げた達成感を感じる。 ・交流する相手との活動を通して、他者とかかわる力や主体的に活動する力を身に付ける。

②年間指導計画

月	学 習 活 動	学 習 内 容	時 数		
			1年	2年	3年
4	オリエンテーション	○1学期に実施する活動について知る。	1	1	1
	学部交流活動	○交流活動に向けて新しい仲間と親睦を深めるための活動を考えたり道具等を準備したりする。	2	2	2
5	現場実習3年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	校外学習(2年) ※事前事後学習	○目的地について調べ、まとめ、発表する。 ○調査の結果を取りまとめ、発表する。	-	2	-
6	現場実習2年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	性に関する学習	○生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づき、性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにする。	2	2	2
7	情報モラル学習	○ネットトラブルの未然防止など、通信情報機器の正しい扱い方を知る。	6	6	6

学期を通して	課題探究活動 (グループ別・課程別)	○活動内容についてまとめたり発表したりする。(2・3年) ○活動を体験し興味・関心のある活動を見つける。(1年) ○活動の目的や内容を理解し、課題を見つけてまとめる。 ○1学期の学習内容を振り返り、成果や今後の課題を知る。 ○探究グループごとに発表会を実施する。 ○他校の高等部生徒と交流活動を行う。(ⅡⅢⅣ課程) ○障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムを体験する。(Ⅳ課程)	10	10	10
	9 オリエンテーション	○2・3学期に実施する活動について知る。	1	1	1
	現場実習3年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
10	主権者教育	○主権者として地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付ける。	2	2	2
	進路講話	○社会人として必要な知識技能を知る。 ○進路に関する講話を通して、自分の進路を考える。	2	2	2
	校外学習(1年) ※事前事後学習	○目的地について調べ、まとめ、発表する。 ○調査の結果を取りまとめ、発表する。	2	-	-
11	校外学習(3年) ※事前事後学習	○目的地について調べ、まとめ、発表する。 ○調査の結果を取りまとめ、発表する。	-	-	2
12	進路講話	○社会人として必要な知識技能を知る。 ○進路に関する講話を通して、自分の進路を考える。	2	2	2
	現場実習1年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
学期を通して	課題探究活動 (グループ別・課程別)	○活動の中で見つけた課題について調べる。 ○2学期の学習内容を振り返り、成果や今後の課題を知る。 ○探究グループごとに発表会を実施する。 ○障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムを体験する。(Ⅳ課程)	18	18	18
1	現場実習2年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	進路講話	○社会人として必要な知識技能を知る。 ○進路に関する講話を通して、自分の進路を考える。	2	2	2
2	消費者教育(3年)	○消費者トラブルに巻き込まれないように正しい知識と対応法を学ぶ。	-	-	2
3	学部交流活動(1・2年)	○卒業に向けて取り組む先輩を温かく送り出すための活動を考えたり道具等を準備したりする。	2	2	-
学期を通して	課題探究活動 (グループ別・課程別)	○1年間取り組んだ成果や今後の課題をまとめる。 ○課題について調べた結果をまとめる。 ○探究グループごとに発表会を実施する。 ○障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムを体験する。(Ⅳ課程)	8	8	8

3 ホームルーム活動

(1) ホームルーム活動の目標

- (1)生徒一人一人が自己理解を深め、体験活動を通して、豊かな人間性を育み、自立と社会参加を目指す態度を育成する。
- (2)望ましい集団活動を通して、心身の調和的発達と個性の伸長を図る。
- (3)社会の一員としての自覚を深め、将来の進路を選択決定する能力を育成する。

(2) 学年別目標

1 年	2 年	3 年
①高校生としての自覚をもたせ、学習や生活面での自律的自主的態度を育成する。 ②学級や学校における自治活動を理解し、共同生活を向上させていくための意欲と経験を豊かにする。 ③障がいによる学習上または生活上の困難の改善を図るとともに、自己の進路に対する関心と意欲を高めるようにする。	①高等部中堅学年としての責任を自覚させ、諸活動における自主性・積極性の広がりを目指す。 ②個人、社会、人生などの諸問題についての考えを深め、豊かな人間性を育む。 ③障がいによる学習上または生活上の困難の改善を図るとともに、自己の進路に対する関心と意欲を高めるようにする。	①高等部最高学年としての自覚をもたせ、学級、学校、寄宿舎における生活全般についての指導性を育成する。 ②社会人、職業人になるための知識と心構えを育成する。 ③障がいによる学習上または生活上の困難を主体的に改善するための心構えを養うとともに、自己の進路を決定できるようにする。

(3) ホームルーム活動の年間指導計画及び配当時間

	1 年	時間	活動内容記号	2 年	時間	活動内容記号	3 年	時間	活動内容記号
4月	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級選出 学年生徒間の親睦	1 1 1 1	(1)ㄲ (1)ㄱ (1)ㄱ (1)ㄱ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級選出	1 1 1	(1)ㄲ (1)ㄱ (1)ㄱ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級選出	1 1 1	(1)ㄲ (1)ㄱ (1)ㄱ
5月	人権・平和学習 専門部会 生徒総会議案審議 生徒総会	1 1 1 1	(2)ㄲㄲ (1)ㄱ (1)イ (2)ㄲ (1)ㄱ (2)ㄲ	人権・平和学習 専門部会 生徒総会議案審議 生徒総会	1 1 1 1	(2)ㄲㄲ (1)ㄱ (1)イ (2)ㄲ (1)ㄱ (2)ㄲ	人権・平和学習 専門部会 生徒総会議案審議 生徒総会	1 1 1 1	(2)ㄲㄲ (1)ㄱ (1)イ (2)ㄲ (1)ㄱ (2)ㄲ
6月	環境学習 防災学習 専門部会 クラス独自の取組	1 1 1 1	(3)ㄱ (2)オ (1)ㄱ (1)ㄲイ (3)イ	環境学習 防災学習 専門部会 施設の種類・内容について	1 1 1 1	(3)ㄱ (2)オ (1)ㄱ (3)ㄲエ	環境学習 防災学習 専門部会 クラス独自の取組	1 1 1 1	(3)ㄱ (2)オ (1)ㄱ (1)ㄲイ (3)イ
7月	学業と進路について クラス独自の取組 学期目標設定(振り返り)	1 1 1	(2)エ (3)ㄲウエ (1)ㄲイ (3)イ (1)ㄲ	学業と進路について 学期目標設定(振り返り)	1 1	(2)エ (3)ㄲウエ (1)ㄲ	学業と進路について クラス独自の取組 学期目標設定(振り返り)	1 1 1	(2)エ (3)ㄲウエ (1)ㄲイ (3)イ (1)ㄲ
8月									
9月	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級役員選出 専門部会	1 1 1 1	(1)ㄲ (1)ㄱ (1)ㄱ (1)ㄱ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級役員選出 専門部会 修学旅行の計画と準備	1 1 1 1 1	(1)ㄲ (1)ㄱ (1)ㄱ (1)ㄱ (1)ㄲイ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級役員選出 専門部会	1 1 1 1	(1)ㄲ (1)ㄱ (1)ㄱ (1)ㄱ

10月	生徒総会議案審議	1	(1)イ (2)ア	修学旅行の計画と準備	1	(1)アイ	生徒総会議案審議	1	(1)イ (2)ア
	生徒総会	1	(1)ウ (2)ア	生徒総会議案審議	1	(1)イ (2)ア	生徒総会	1	(1)ウ (2)ア
	ドリームフェスティバル学年発表 検討	1	(1)イ	生徒総会	1	(1)ウ (2)ア	ドリームフェスティバル学年発表 検討	2	(1)イ
11月	防災学習	1	(2)オ	防災学習	1	(2)オ	防災学習	1	(2)オ
	学業と進路について	1	(2)エ (3)アウエ	学業と進路について	1	(2)エ (3)アウエ	学業と進路について	1	(2)エ (3)アウエ
12月	ドリームスポーツ杯企画	1	(1)イウ (2)アイウ	ドリームスポーツ杯企画	1	(1)イウ (2)アイウ	ドリームスポーツ杯企画	1	(1)イウ (2)アイウ
	人権・平和学習	1	(1)イウ	人権・平和学習	1	(1)イウ	福祉制度について	1	(3)アエ
	学期目標設定(振り返り)	1	(1)イウ	学期目標設定(振り返り)	1	(1)イウ	人権・平和学習	1	(1)イウ
1月	学期目標設定	1	(1)イウ	学期目標設定	1	(1)イウ	学期目標設定	1	(1)イウ
	専門部会	1	(1)ウ	専門部会	1	(1)ウ	専門部会	1	(1)ウ
2月	人権・平和学習	1	(2)アイウ	人権・平和学習	1	(2)アイウ	人権・平和学習	1	(2)アイウ
	防災学習	1	(2)オ	防災学習	1	(2)オ	防災学習	1	(2)オ
	クラス独自の取組	1	(1)アイ (3)イ	クラス独自の取組	1	(1)アイ (3)イ	学業と進路について	1	(2)エ (3)アウエ
							クラス独自の取組	1	(1)アイ (3)イ
3月	学業と進路について	1	(2)エ (3)アウエ	学業と進路について	1	(2)エ (3)アウエ			
	クラス独自の取組	1	(1)アイ (3)イ	クラス独自の取組	1	(1)アイ (3)イ			
	学期目標設定(振り返り)	1	(1)イウ	学期目標設定(振り返り)	1	(1)イウ			
合計	計 35 時間			計 35 時間			計 35 時間		

4 生徒会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
生徒会活動年間計画	新入生を迎える会 (4) 生徒会専門部員等の選出 (1) 生徒会役員選挙 (1)	集会活動 (1) 専門部会 (1) 議案書審議 (1) 生徒総会 (1)	専門部会 (1)	集会活動 (1)		生徒会役員選挙 (1) 専門部会 (1)	集会活動 (1) 生徒会専門部員等の選出 (1) ドリームフェスティバルの話し合い (1) 議案書審議 (1) 生徒総会 (1)	ドリームスポーツ杯の話し合い (1)	集会活動 (1)	専門部会 (1)	集会活動 (1) 給食感謝の会 (0) (委員) バス感謝の会 (0) (委員) 3年生を送る会 (3)		
月別時間数計	6	4	1	1	0	2	5	1	1	1	4	0	26

5 学校行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計			
													1年	2年	3年	
儀式的行事	始業式 【2・3年】 (1) 入学式 【1・3年】 (1)			終業式 (1)		始業式 (1)			終業式 (1)	始業式 (1)		卒業式 (1) 【2・3年】 終業式 【1・2年】 (1)	6	7	7	
文化的行事								別支トリーム フェスティバル (6)					6	6	6	
健康安全・ 体育の行事	身体測定 (1) 心臓検診 【1年】(1) 胸部X線 【1年】(1)	内科検診 (1) 耳鼻科検診 (1) 眼科検診 (1)	整形外科 検診 (1) 歯科検診 (1)	球技大会 (4) 避難訓練 (1)		身体測定 (1)		避難訓練 (1)	トリームスポ ーツ 杯 (4)	身体測定 (1)	避難訓練 (1)		21	19	19	
旅行・集団 宿泊の行事			校外学習 【1年】(5) 校外学習 【2年】(5)	交流及び共 同学習 【3年】(2)			修学旅行 【2年】(18)		校外学習 【3年】(5)				5	23	7	
勤労生産・ 奉仕の行事	環境整備 (1)			環境整備 (1)		環境整備 (1)			環境整備 (1)	環境整備 【3年】(1)	環境整備 【1・2年】 (1)		5	5	5	
時間 合計	1年	5	3	7	7	0	3	0	7	6	2	2	1	43		
	2年	3	3	7	7	0	3	18	7	6	2	2	2		60	
	3年	4	3	2	9	0	3	0	7	11	3	1	1			44

6 自立活動

(1) 目標

教育活動全体及び時間の指導をとおして、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、心身の調和的発達を培いながら、生徒それぞれにとっての自立と社会参加を目指す。

(2) 指導方針

- ①生徒の実態を的確に把握し、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付け個別の指導計画を作成して、系統的な指導をできるようにする。その際個々の生徒の人間として調和のとれた育成を目指すように努める。
- ②障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行う。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、道徳科、総合的な探究の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うように配慮する。
- ③重複障がい生徒のうち、障がいの状態により各教科に替えて、自立活動を主として指導を行う。

(3) 指導計画

- ①個別の指導計画を作成し、指導を行い、評価・改善をする。
 - ア 個別の指導計画の作成における留意点
 - ・実態把握は、長所や得意なことを含めて行う。収集した情報は、個人情報の保護に留意する。
 - ・指導目標の達成に向けて、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。
 - イ 指導内容の設定における留意点
 - ・生徒が、主体的に取り組む内容にする。
 - ・生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服の意欲を喚起する内容にする。
 - ・生徒の発達の進んでいる側面を更に伸ばす内容にする。
 - ・生徒が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような内容にする。
 - ・生徒が、自己選択や自己決定をすることができるような内容にする。
 - ・生徒が、自立活動の学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組める内容にする。
 - ウ 評価における留意点
 - ・生徒の学習状況を学期末に適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に生かすように努める。
- ②指導時間数
「V高等部 1形態別授業時数」の頁参照。
- ③指導形態
 - ・指導目標を達成する上で、個別指導又は集団を構成して指導するかは効果的な方を選択する。

(4) 指導上の配慮事項

- ①自立活動の指導は、全教師の協力の下に効果的に行われるようにする。
- ②生徒の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして適切な指導ができるようにする。
- ③生徒の指導の継続性を確保するため、個別の指導計画を活用したり、教職員間で引継ぎを行ったりする。

7 産業現場等における実習

(1) I 課程

学科名	学年	教科名	科目名	単履 位数修	内 容	実習期日	実 習 時間数	実 習 場 所 又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
普通科	1	総合的な 探究の時間		2	検品・組立作業 作業訓練、軽作業等	9月	30	県内一般企業 県内福祉施設等	2	2	生徒の実態に応じて、上記期間外にも必要に応じて産業現場等における実習を実施することがある。
普通科	2	産業社会と人間	産業社会と人間	4	検品・組立作業 作業訓練、軽作業等	6月・1月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	4	3	生徒の実態に応じて、上記期間外にも必要に応じて産業現場等における実習を実施することがある。
普通科	3	産業社会と人間	産業社会と人間	4	検品・組立作業 作業訓練、軽作業等	6月・9月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	3	2	生徒の実態に応じて、上記期間外にも必要に応じて産業現場等における実習を実施することがある。

(2) II III IV 課程

学科名	学年	教科名	科目名	単履 位数修	内 容	実習期日	実 習 時間数	実 習 場 所 又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
普通科	1	作業学習 (II III 課程)	総合的な 探究の時間 (IV 課程)	1 週	検品・組立作業 軽作業・余暇活動等	9月	30	県内一般企業 県内福祉施設等	3	3	生徒の実態に応じて、上記期間外にも必要に応じて産業現場等における実習を実施することがある。
普通科	2	作業学習 (II III 課程)	総合的な 探究の時間 (IV 課程)	2 週 × 2 回	検品・組立作業 軽作業・余暇活動等	6月・1月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	3	3	生徒の実態に応じて、上記期間外にも必要に応じて産業現場等における実習を実施することがある。
普通科	3	作業学習 (II III 課程)	総合的な 探究の時間 (IV 課程)	2 週 × 2 回	検品・組立作業 軽作業・余暇活動等	6月・9月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	5	5	生徒の実態に応じて、上記期間外にも必要に応じて産業現場等における実習を実施することがある。

8 交流及び共同学習

(1) 学校間交流

①目的

近隣の高等学校または他校の高等部生徒との交流及び共同学習を通して、経験を広めるとともに好ましい人間関係を育成し、社会性を養う。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
3年	8名	7月	2時間	特別活動 (学校行事)	レクリエーション活動やグループごとの共同学習を通して相互理解を深める	高等学校 または 鶴見校	同学年 または 同じ学部	8名 (相手校実施) または なし (本校実施)

X 児童生徒

1 児童生徒数及び学級数

令和6年5月1日現在

学 部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				計	
	学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3		計
単一(肢体)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
単一(病弱)	0	1	1	2	0	4	8	1	0	4	5	2	3	3	8	21	
重 複	2	2	3	1	2	1	11	8	2	3	13	3	3	5	11	35	
男	1	1	3	3	2	4	14	7	1	5	13	4	3	6	13	40	
女	1	2	1	0	0	2	6	2	1	2	5	1	4	2	7	18	
合 計	2	3	4	3	2	6	20	9	2	7	18	5	7	8	20	58	
学 級 数	2	1, 1	1, 1	1, 1	1	1, 2	9	4	1	2	7	2	3	3	8	24	

2, 3年病弱複式 4, 6年重複様式

2 重複障がい学級在籍状況

学 部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				計
	学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	
在 籍 数	2	2	3	1	2	1	11	8	2	3	13	3	3	5	11	35
学 級 数	1	1	1	1	1	1	5	3	1	1	5	1	1	2	4	14

複式

3 出身地別児童生徒数

区 域	市町村名	小 学 部	中 学 部	高 等 部	計
中津管内	中津市	0	0	0	0
	宇佐市	2	0	0	2
別府管内	国東市	0	0	1	1
	杵築市	0	0	0	0
	別府市	13	14	15	42
	日出町	1	0	2	3
	姫島村	0	0	0	0
大分管内	大分市	1	3	2	6
	臼杵市	0	0	0	0
	津久見市	0	0	0	0
	由布市	3	1	0	4
佐伯管内	佐伯市	0	0	0	0
	豊後大野市	0	0	0	0
竹田管内	竹田市	0	0	0	0
日田管内	日田市	0	0	0	0
	玖珠町	0	0	0	0
		20	18	20	58

4 通学状況別児童生徒数

		小 学 部	中 学 部	高 等 部	計
単独通学	寄 宿 舎	0	3	2	5
	徒歩又は車椅子	0	2	3	5
	スクールバス	3	6	1	10
	スクールバス・JR	0	1	0	1
	JR・路線バス	0	0	0	0
	路線バス	0	0	2	2
	路バス・JR・スクバス	0	0	0	0
	自転車・JR・路バス	0	0	1	1
介添通学	徒歩又は車椅子	0	0	0	0
	スクールバス	0	0	0	0
	路線バス	0	0	0	0
	自家用自動車	17	9	11	37
計	20	18	20	58	

5 高等部卒業生の進路状況

(令和3年度～令和5年度までの高等部卒業生の進路状況)

種 別	進路先	人 数								
		R3年度卒業生			R4年度卒業生			R5年度卒業生		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
進学・職業訓練	大学、短大、専門学校				2	2		3	3	
	障がい者職業能力開発校									
	職業能力開発校									
一般就労	企業就労	2		2	2	1	1	1		1
	就労継続支援A型	1		1	3	3				
福祉的就労	就労移行支援	2	2		3		3	2		2
	就労継続支援B型	7	5	2	8	4	4	9	7	2
介 護	療 養 介 護									
	生 活 介 護	1		1	1		1	1	1	
訓 練	自立訓練（生活、機能）									
	地域活動支援センター									
そ の 他	在宅・訪問介護等	2	1	1						
未 定		2	1	1	2		2			
卒 業 者 数		17			21			16		

※卒業生の中には、複数の事業所（生活介護と地域活動センターなど）を利用している生徒もいます。

6 児童生徒数・学級数推移

	小学部								中学部								高等部								合 計			
	児童数				学級数				生徒数				学級数				生徒数				学級数							
	単一 (肢体)	単一 (病弱)	重 複	合 計	単一 (肢体)	単一 (病弱)	重 複	合 計	単一 (肢体)	単一 (病弱)	重 複	合 計	単一 (肢体)	単一 (病弱)	重 複	合 計	単一 (肢体)	単一 (病弱)	重 複	合 計	単一 (肢体)	単一 (病弱)	重 複	合 計			児 童 生 徒 数	学 級 数
H26	0	5	12	17	0	2	6	8	3	6	6	15	1	2	2	5	6	15	13	34	3	3	5	11	66	24		
H27	0	4	16	20	0	2	6	8	3	9	5	17	1	3	2	6	6	24	19	49	3	4	7	14	86	28		
H28	0	4	15	19	0	2	6	8	0	8	5	13	0	3	2	5	5	22	17	44	3	4	6	13	76	26		
H29	0	3	16	19	0	2	6	8	1	10	6	17	1	3	3	7	3	30	14	47	2	5	6	13	83	28		
H30	0	6	16	22	0	4	7	11	1	9	8	18	1	3	4	8	3	26	8	37	2	4	4	10	77	29		
H31	1	8	14	23	1	4	6	11	1	15	10	26	1	4	5	10	3	35	8	46	2	5	4	11	95	32		
R02	1	9	14	24	1	3	6	10	0	13	11	24	0	3	5	8	3	35	13	51	3	5	5	13	99	31		
R03	1	8	12	21	1	4	5	10	0	11	10	21	0	3	4	7	3	45	15	63	3	7	6	16	105	33		
R04	1	8	12	21	1	4	4	9	0	11	9	20	0	3	3	6	2	36	14	52	2	6	6	14	93	29		
R05	1	9	14	24	1	4	6	11	0	7	8	15	0	2	3	5	1	19	12	32	1	4	5	10	71	26		
R06	1	8	11	20	1	3	5	9	0	5	13	18	0	2	5	7	1	8	11	20	1	3	4	8	58	24		

XI 寄 宿 舎

1 教育目標

家庭的な雰囲気の中で、秩序正しく明るい日常生活及び集団生活を経験することで、心身の健全な発達、社会性の伸長を図るとともに豊かな人間性を育む。

2 生活目標

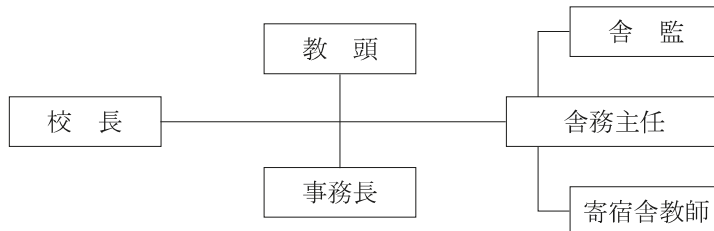
- (1) 楽しい生活を工夫しよう。
- (2) 心と身体を鍛えよう。
- (3) 協力し助け合いながら仲良くすごそう。
- (4) 礼儀正しい言葉づかいや態度を身につけよう。

3 本年度の目標

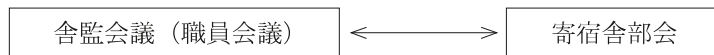
- (1) 一人一人の障がいの状態や、特性・進路に応じた生活づくりをする。
- (2) 集団の中で互いに認めあう仲間づくりをする。
- (3) 健康で安全な生活を送る。
- (4) 舎職員の研修の充実。

4 運営組織

- (1) 運営系列



- (2) 運営組織



- (3) 舎務分掌

庶務部

舎生入退舎（入舎面接）、個別の生活指導計画、部屋割り関係、運営内規、舎務分掌、職員関係の事務（勤務・食事・親睦会）、会議計画、PTA、文書・物品管理、衛生委員会（副）、個人記録の管理、Zoomのサポート

保健部

舎だより（3学期）、保健指導（健康・安全・服薬）、学校との保健連絡、調理との話し合い、食堂・配膳室・トイレの管理（座席表・おやつ棚を含む）、環境衛生と保健物品の管理、シーツ・布団管理、消毒物品関係の管理（消毒液・消毒用雑巾・綿花等）、舎食費会計、加湿器、冷暖房器具管理・清掃（ファンヒーター・扇風機等）

文化部

舎友会顧問（行事・企画部会・当番活動に関する指導）、舎友会規則、舎友会費出納、HP担当、行事に関する物品管理、新春お楽しみ会、生活体験学習係、舎だより（2学期）

生活部

舎生心得、帰省・外出に関する規則、日課時限、学習（延灯等）、余暇指導（テレビ・図書・玩具）、生活体験学習係、所持品、職員研修、舎内外の環境整備（*計画を作成して、各班に分担する）、物品・消耗品・修繕関係、防災関係（防災計画書・避難訓練・不審者対策・安全点検）、舎費出納、舎だより（1学期）、風呂場・洗濯場管理、介助用具と車椅子の管理、清掃用具の点検、衛生委員会（正）

※チャレンジスタッフ担当

(4) 会議

舎監会議～舎務主任、舎監

寄宿舎部会～舎務主任、全寄宿舎教師

5 生活日課表

平日

自由時間には入浴・洗濯を含む

起床・洗面	体操・点呼・片付け	朝食	登校準備・登校	学 校	自由時間	清掃	夕食	自由時間	自習・点呼	コーヒータイム	就寝準備	消灯・延灯		
6:45	7:40	7:50	8:20	8:40	下校 15:30	16:00	17:00	17:20	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

6 学部別舎生数

学 部		小学部	中学部	高等部	計
舎 生 数	男	0	3	1	4
	女	0	0	1	1
	計	0	3	2	5

7 年間計画

	舎友会行事	生活	健康・保健	環境・整備	その他
4月	新入舎生歓迎式 舎友会役員任命 前期舎友会総会 企画部会（毎月）	新入生オリエンテーション ・ 基本的な生活習慣 ・ 日課時限の説明 校内研究の計画 防災計画、防災診断（毎月） 避難訓練（職員） ・ 火災 地震 噴火	健康保健調査 薬品管理 緊急時対応訓練 調理との情報交換	舎内外の清掃 溝清掃（毎月） 清掃区分分担 清掃道具点検 修理箇所確認 清掃指導	全体舎懇談 舎務諸計画作成 研修計画 寄宿舎部会（月2回） 舎監名簿作成 舎監割当表作成（毎月） IP更新（適時） 舎だより（各学期） 家庭訪問
5月		火災避難訓練	害虫駆除 食中毒対策	除草作業 舎内外の清掃	
6月		衣替え	梅雨の衛生対策 虫歯予防 衛生検査	網戸の点検 舎内外の清掃	
7・8月	夏のお楽しみ会 七夕	夏季休業中の過ごし方の オリエンテーション 不審者対応訓練	緊急時対応訓練 害虫駆除 畳上げ作業	浴場の大清掃 学期末大掃除 倉庫在庫調べ	
9月	後期役員選挙 月見会 花火大会	避難場所確認	害虫駆除 衛生検査	舎内外の清掃 除草作業 修理箇所の確認	
10月	舎友会役員任命 舎遠足 後期舎友会総会	衣替え 地震避難訓練	手洗い指導	舎内外の清掃	
11月				舎内外の清掃	
12月	クリスマス会	冬季休業中の過ごし方の オリエンテーション	風邪対策	学期末大掃除 浴場の大清掃 倉庫在庫調べ	
1月	新春お楽しみ会	避難場所確認	風邪対策	舎内外の清掃	
2月	お別れ会 節分	研究報告 噴火避難訓練	風邪対策	清掃区域分担 舎内外の清掃	
3月	次期役員選挙	身辺整理 春季休業中の過ごし方の オリエンテーション	風邪対策	浴場の大清掃 倉庫在庫調べ 修理箇所確認 学年末大掃除	次年度舎務諸計画立案 入舎面接・保護者説明会 徴収金集計

XII 職員研修

(1) 本年度の基本方針

校内研究

- ・本校の学校教育目標及び重点課題に沿って、必要とされる専門性の習得を目指して学校研究テーマを決定する。
- ・寄宿舎の研究テーマとも関連しあい、相互に理解を深め合えるようにする。
- ・鶴見校、石垣原校とも、相互に研究テーマを関連しあうことで、より成果を広めあい、研究的連携を図れるようにする。

校外研修

- ・各種研修会や講習会に参加し、肢体不自由児（者）及び病弱児（者）に対する専門的な知識・技能を高めるとともに研修内容の還元・活用を積極的に果たす。

(2) 研修計画

月	校 内 研 究	校 内 研 修	校 外 研 修
4 月	・校内研究主題決定	・新任者オリエンテーション ・救急法講習会 ・個別の教育支援計画研修（各学部） ・個別の指導計画作成研修 ・情報モラル研修	・特別支援学校新任教員研修 教育センター研修 県外研修 等
5 月	校内研究主題に沿った研究		・人権社会確立全九州研究集会（佐賀県）
6 月			・部落解放・人権西日本夏期講座（別府市）
7 月		・フッ化物洗口新任教職員研修会 ・ICT 研修 ・人権教育研修会 ・医療的ケア研修会	
8 月		・校内研修支援に係る研修会 ・摂食指導専門家による研修 ・生徒指導部研修（防災）	・全病連（栃木県） ・九病連（熊本県）
9 月			
10月		・特別支援学校教員指導力向上事業に係る授業研究会	・ヒューライツフォーラム（玖珠・九重）
11月			・全肢研（熊本県） ・九肢研（全肢研と同時開催） ・県特研振興大会
12月			・全国人権・同和教育研究大会（熊本・福岡・佐賀） ・別府地区高等学校人権同和教育研究大会
1 月			・別府市人権同和教育研究大会
2 月 3 月		・研究成果報告	

XIII スクールバス運行規定

大分県立別府支援学校スクールバスの通学に係わる運行について次のように規定する。

1 利用基準

大分県立別府支援学校スクールバスを利用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 徒歩、公共交通機関を利用し自力で通学することが困難で、スクールバスの利用を希望する者が利用するものとする。
 - ※ スクールバス希望者が多い場合は、義務制の児童生徒を優先する。
 - ※ 車椅子は通路等を活用すると4～5台乗せることも可能である。ただし、車椅子の固定器具及び添乗員が1名であることを配慮し、利用は原則2台までとする。
- (2) スクールバス利用者の決定はスクールバス運行委員会の協議のうえ、学校長が認めた者とする。
- (3) 高等部病弱の課程に所属する生徒は、就労に向け3年次から路線バスを利用し、登下校することを原則とする。

2 運行経路等

スクールバスの運行範囲及び経路は、次のとおりとする。

- (1) 運行範囲は、別府市内とする。
- (2) 乗降場所については、各年度のスクールバス利用希望者の状況、道路交通状況、運行時間等を考慮の上、スクールバス運行委員会で協議する。
- (3) 運行時刻については、各年度の日課表及び公共交通機関との連絡を考慮する。
- (4) スクールバスの運行に当たっては、児童生徒の障がいの実態をもとに乗車時間について考慮する。
- (5) 運行経路、乗降場所及び運行時刻については年度当初に定めたものを原則とし、変更しないこととする。
- (6) JRを利用する生徒については別府駅で乗降するものとする。

3 保護者の責務等

通学のためにスクールバスを利用するに当たっては、保護者に対して次のとおり対応を依頼する。

- (1) 居住地からスクールバスの乗降場所までの対応は、保護者が責任を持ち行うこと。
- (2) 安全な運行に支障をきたす児童生徒については、保護者が同乗して付き添うこと。
(場合によっては、乗車を遠慮して頂く事がある。)
- (3) 児童生徒の乗降に当たり、保護者は車椅子及び座席の固定、解除を手伝うこと。
- (4) 保護者は、スクールバスの通過予定時刻5分前までに、所定の乗降場所で待機しておくこと。

4 その他

- (1) 学校感染症にかかっており、かかっている疑いのある児童生徒については、学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで利用を控えさせる。
- (2) 医療的ケアを必要とする児童生徒は、登下校便については利用できない。
- (3) 寄宿舎生の利用については、卒業後の就労等を考慮し公共交通機関の利用が教育上必要と校長が認めた場合、別途協議し各学部や分掌が調整の上で乗車を認めることもある。

この規定は、平成21年4月8日から適用する

平成25年4月1日 高等部の生徒の利用規定変更に伴い改定

平成26年4月1日 改定

平成27年4月3日 改訂

平成29年4月6日 改定

令和2年2月20日 改定

XIV 学校評議員

齋藤哲
恒松克己
濱田聖美
舛田敬行
米澤金作